

TR-33 をご購入のお客様へ

この度は、ドライブレコーダー TR-33をご購入いただき誠にありがとうございます。
本製品はCS-33FHをベースにした特別仕様となります。付属の取扱説明書は以下の内容に差し替えてお読みください。また製品名の表記がCS-33FHとなりますが、ご了承ください。

【変更箇所①】 取扱説明書 <P10 付属品の変更>

DCコードは、直結配線DCコード(3極DCプラグ)タイプとなります。



□ 直結配線DCコード
(3極DCプラグ)

【変更箇所②】 取扱説明書 <P36 設定一覧>

TR-33 は、インボース記録、位置情報取得の設定変更はできません。

インボース記録 : オン

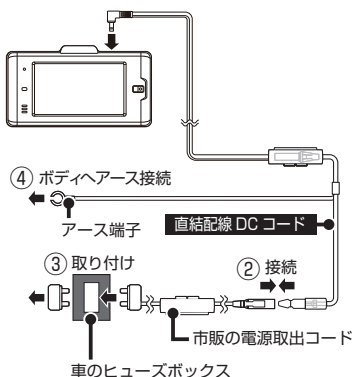
位置情報取得 : オン

本機の取り付け方法の補足

1 本体のDCソケットにDCコードを接続し、車から直接電源を取ります。

ヒューズボックスから電源を取る場合

取り付け車両に合った市販の電源取出コード(平型ヒューズタイプ)を使用してヒューズボックスから直接電源を取ります。



- ① ACCオン/オフに連動するヒューズボックス内のヒューズ(シガーライター、ラジオなど)を探します。
- ② DCコードと電源取出コードを接続します。
- ③ ヒューズボックスのヒューズを抜き、電源取出コードをバッテリー側に差し込みます。
- ④ DCコードのアース端子を車のボディに接続します。

アース端子はボディの金属部に接続してください。

【取り付けに適している場所】

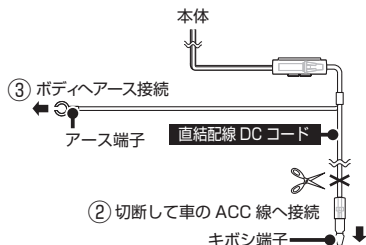
車の電装のアースポイント(コンピューター、リレーなどのアースコードを直接ボディに接続しているところ)

【取り付けに適さない場所】

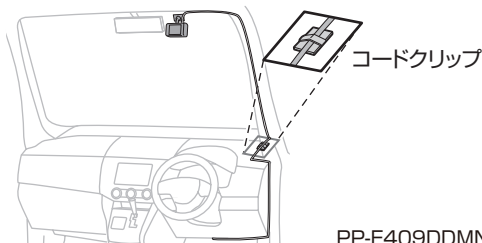
- ・ アンダーダッシュやセンターコンソールなど樹脂を止めているネジ(タッピングネジなど)
- ・ チルトステアリング装備車で、ステアリングと一緒に動作(上下)する金属部分

ACC線から直接電源を取る場合

市販のエレクトロタップなどを使用して、車のACC線から直接電源を取ります。



- ① テスターなどで、車のキーをACCオンにしたときに24V、オフにしたときに0VになるACC線を探します。
- ② DCコードのギボシ端子を切り落とし、市販のエレクトロタップなどを使用して車のACC線へ接続します。
- ③ DCコードのアース端子を車のボディに接続します。



DCコードは、運転の妨げにならないよう
付属のコードクリップなどを利用して、
配線処理してください。

ドライブ レコーダー DRIVE RECORDER CS-33FH

取扱説明書 本体編

この度は、弊社製品をご購入いただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用になる前に、本書をよくお読みになり、本機を正しくお使いください。
なお、お読みになったあとは、大切に保管してください。

本機は、日常の運転をドライブレコーダーで記録し分析することで、安全運転についての改善や、効果的な運転管理を推進し、交通事故の防止および安全運転を促進する目的で製造販売しております。

microSDカードについての取り扱い注意事項

microSDカードの挿入／取り出しの際は、本体からDCコードをはずし、必ず本体の動作LEDが消えたことを確認してからおこなってください。

microSDカードは消耗品です。一定使用期間が過ぎるとメモリーセクターの一部が損傷されて正常な録画ができない可能性があります。microSDカードによる不具合が発生した場合は、オプションのmicroSDカードと交換してください。

microSDカードを新たに購入される場合は、オプションのドライブレコーダー専用microSDカード(GDO-SD8G1/GDO-SD16G1/GDO-SD32G1/GDO-SD64G1/GDO-SD128G1)をおすすめします。

画像モードを変更するとmicroSDカードメンテナンスフリー機能により、ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生し、録画ファイルなどがすべて消去されます。あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで録画ファイルなどをバックアップすることをおすすめします。

パソコンなどでmicroSDカード内の録画ファイルを変更(削除、追加、移動)しないでください。バックアップはファイルのコピーでおこなってください。

Copyright © 2022 CELLSTAR INDUSTRIES Co.,Ltd. All Rights Reserved.

Cellstarは、セルスター工業株式会社の登録商標です。

microSD™はSDアソシエーションの登録商標です。

microSD Logoは登録商標です。

QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

その他会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。



はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

専用ビューアソフトと専用ビューア説明書は、下記URLよりダウンロードしてください。

https://www.cellstar.co.jp/dlfm/download_viewer.php

もくじ

はじめに

安全上の注意	4
microSDカードについての取り扱い注意事項	6
使用上の注意	7
録画についての注意事項	7
取り付けについての注意事項	7
microSDメンテナンスフリー機能について	7
パーキングモードについて	7
GPSについて	8
本機の画面について	8
タッチパネルについて	8
夜間補正について	8
付属のコードについて	8
アイドリングストップ車での使用について	8
安全運転支援機能（本体カメラ・別体カメラ）について	9
GPSおしらせ機能について	9
専用ビューアソフトについて	9
カメラレンズの注意事項	9
事故発生時の注意事項	9
梱包内容の確認	10
梱包内容	10
オプション品	11
各部の名称と機能	12
本体	12
別体カメラ	13

取り付けと準備

取り付け方法	14
本体と別体カメラの設置場所（推奨）	14
本体をフロントガラスに取り付ける場合	15
フロントガラスへの取り付け位置（正面）	15
フロントガラスへの取り付け位置（側面）	15
フロントガラスへの取り付け	16
本体用マウントベースから本体を取りはずす	16
本体をダッシュボードに取り付ける場合	16
別体カメラをリヤガラスに取り付ける場合	17
取り付け位置（正面）	17
取り付け位置（側面）	18
リヤガラスへの取り付け	18
別体カメラをリヤトレイに取り付ける場合	19
取り付け位置（側面）	19
本体と別体カメラを接続	20
接続方法	20
別体カメラの設定	20
アクセサリソケットから電源を取る場合	21
配線処理	21
ヒューズが切れた場合	21
microSDカードの挿入および取り出し	22
microSDカードの挿入	22
microSDカードの取り出し	23

基本操作

製品の使用方法	24
電源のON/OFF	24
エラーメッセージ	24
タッチパネルについて	25
本機の画面	26
録画方法	28
録画モードについて	28
常時録画モードとイベント録画モード	28
クイック録画機能（手動）	29
パーキングモードについて	30
取り付け方法	30
パーキングモードの録画仕様について	30
常時電源コードの設定	31
パーキングモードの設定	32
パーキングモード録画のオン/オフ切り替え	33
パーキングモード録画の動作	33

各種設定

各種設定の変更	34
設定の変更方法（例：アイコン表示）	34
設定一覧	35
画像モード設定「カスタム」時、設定内容一覧	37
別体カメラ録画、表示設定内容一覧	37
3Gセンサー感度「カスタム」時、設定内容一覧	37
画像モード設定	38
その他の機能	39
再生モード	39
録画ファイルロック機能	39
安全運転支援機能（本体カメラ）	40
前車発車警告	40
車間距離保持警告	40
車線逸脱警告	40
安全運転支援機能（本体カメラ）の設定内容一覧	40
キャリブレーション（本体カメラ）	41
車種を設定する	41
地平線（前方）を調整する	42
ボンネットを調整する	42
安全運転支援機能（別体カメラ）	43
後車接近警告	43
安全運転支援機能（別体カメラ）の設定項目	43
キャリブレーション（別体カメラ）	44
GPSおしらせ機能	45
MyCellstarについて	47
パソコンでGPSデータをダウンロード	47
スマートフォンでGPSデータをダウンロード	48
GPSデータ更新	49
GPSデータの版数確認	49
GPSの測位について	49
超速GPSについて	49
外部モニター表示	50
外部モニターの表示内容	51
セルスター製セーフティレーダーに接続	52
撮影モードについて	53
取扱説明書QRコード表示	53
フォーマット	54
システムリセットと強制初期化（強制フォーマット）	55
システムリセット	55
強制初期化（強制フォーマット）	55
タッチパネルのキャリブレーション設定	56

ドライブレコーダー専用ビューアソフトについて	57
専用ビューアソフトの動作環境	57
専用ビューアソフトのインストール方法	57

困ったときは

故障かな？と思ったら	58
------------	----

その他

製品の仕様	59
microSDカードのデータについて	61

アフターサービス

アフターサービスについて	62
修理に関して	62
修理受付票	63

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

安全上の注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明していきます。

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



危険

誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が切迫して想定される」内容です。



警告

誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性または物的損害*の発生の可能性が想定される」内容です。
* 物的損害とは、車両・家屋・家財などに関わる拡大損害を示します。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



この表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。具体的な強制内容は、近くに文章で示します。



この表示は、してはいけない「禁止」の内容です。具体的な禁止内容は、近くに文章で示します。



この表示は、気をつけていただきたい「注意」の内容です。具体的な注意内容は、近くに文章で示します。



危険



本機は必ず定められた電圧（DC12V/24V）でご使用ください。

* 火災や感電、故障の原因となります。



運転中に本機を操作しないでください。

* 交通事故の原因となります。操作する場合は、必ず車を安全な場所に停止させ操作してください。



本機をエアバッグが作動する近くに設置しないでください。

* 事故発生時にエアバッグが正常に作動しないおそれがあります。または作動したエアバッグにより負傷の原因となります。



医療用電気機器の近くでは使用しないでください。

* ペースメーカーやその他の医療用電気機器に電波による影響を与えるおそれがあります。



水につけたり、水をかけたり、またぬれた手では絶対に操作しないでください。

* 火災や感電、故障の原因となります。



警告



本機の取り付けは、必ず車のパワー（イグニッション）スイッチをオフにし、キーを抜いた状態でおこなってください。

* 感電および故障の原因となります。



本機の結合部分、スピーカーなどの穴やすき間にはピンや針などの金属を入れないでください。

* 誤って差し込まれた場合は、すぐ使用を中止し取り除いてください。火災、感電、および故障の原因となります。



本機から煙が立つ、異臭がするなどの問題が発生した場合は、すぐに使用を中止してください。

* 火災などの原因となります。



本機を急激に温度が上昇する場所に長期間放置しないでください。

* 製品の変形および火災、爆発の原因となります。



コードをはずすときは、必ずプラグ部分を持ってはずしてください。また破損やキズが付いたコードは使わないでください。

* コードが損傷したまま使用すると、感電および火災の原因となります。



本機の表面はシンナー、アルコール、ベンゼンなどの揮発性物質または有機溶剤で拭かないでください。またゴムとビニールなどを長期間接触させないでください。

* 表面の変質や塗料がはげることがあり、故障および火災の原因となります。



本機を長時間動作した場合、レンズ部分が発熱します。直接手で触れないでください。

警告

- !** 本体および別体カメラは、ガラス面またはダッシュボード（リヤトレイ）表面に正しく取り付けてください。
- * ガラス面またはダッシュボード（リヤトレイ）表面をきれいに拭いたあと、本体および別体カメラを正しく確実に取り付けてください。正しく取り付けしていない場合、本体および別体カメラがガラス面またはダッシュボード（リヤトレイ）表面から外れ運転中に交通事故が発生する可能性があります。

注意

- !** 本機に強い衝撃を与えないでください。
 - * 衝撃により製品の破損や故障の原因となります。
- !** 本機の近くに磁気性があるものを置かないでください。
 - * 製品の誤作動および故障の原因となります。
- !** 本機の近くには障害になるようなものを設置しないでください。
 - * 周りに障害物があるとGPSの受信に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- ⊘** 本機の分解、修理、または改造を絶対にしないでください。
 - * 故障の原因となり保証を受けることができません。
- ⊘** 本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。
- ⊘** 気温の低いところから高いところに本機を移した場合、本機内に結露が生じることがあります。
 - * 結露したまま使用すると故障や発熱の原因となります。使用しないでください。
- ⊘** 本機はサンシェードなどに挟み込まないで設置してください。
 - * サンシェードの反射熱や挟み込まれたまま使用すると非常に高温になり、故障や脱落の原因となります。
- !** GPS 機能は初期作動時、起動するまでに時間がかかります。
 - * 受信環境、気象状況、および車両の位置などにより、数秒から数分がかかる場合があります。
- !** フロントガラスにメタルコーティングされた車両は GPS 受信障害が発生することがあります。
- !** トンネル入出時のように急激に明るさがかわる場合、逆光が強い場合、夜に光源がない場合などの条件では録画品質が落ちることがあります。
- !** 暗い環境では、なるべく高品質で録画するために、車両のヘッドランプやフォグランプをつけてください。
- !** ガラスの表面や本機のカメラレンズの表面はいつもきれいにしておいてください。
 - * ほこりや異物による乱反射や屈折現象の発生で、きれいな映像を記録することができない可能性があります。
- !** 本機は、推奨取付位置に設置してください。
 - * 推奨位置でない場所に設置されると画面がよれることがあります。
 - * 車両に応じて、よい録画ができる位置（推奨取付位置）に装着してください。
- !** LED 方式の信号機などでは画面がちらつく（フリッカー）ことがあります。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-B

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

microSDカードについての取り扱い注意事項

 microSD カードの取り扱いには十分注意して、次の注意事項をよくお読みになりご使用ください。注意事項を守らずに発生するデータの損失および破損に関して弊社は一切の責任を負いかねます。

 録画画質設定の変更や microSD カードの状態によっては、フォーマットが必要になります。

 付属の microSD カードをフォーマットすると録画ファイルなどがすべて消去されます。あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。

 microSD カードの容量によっては、起動時間が変動（長くなったり）する場合があります。

 市販の microSD カードを使用した場合による、本機の動作異常に関して、弊社は一切の責任を負いかねます。

 microSD カードをフォーマットする際は、必ず本機のフォーマット機能でおこなってください。

 microSD カードは消耗品です。一定使用期間（約1年）が過ぎるとメモリーセクターの一部が損傷されて正常な録画ができない可能性があります。microSD カードによる不具合が発生した場合は、新しい指定の microSD カードと交換してください。

 microSD カードを取り出す際は、必ず本機の電源が OFF になっていることを確認してから取りはずしてください。
* 本体の電源が入っている状態で microSD カードを取り出すと、データ損失などの原因となります。

 一般的に microSD カードには、寿命があります。（各メーカーにより異なります）
* microSD カードを長期間使用しているなどの原因でデータに異常が発生した場合、新しい指定の microSD カードと交換してください。

 microSD カードを保管、または持ち歩くときは、必ずケースに入れてください。
* ケースに入れずに保管または持ち歩くと、静電気および外部環境の原因により内部のデータが損失されることがあります。

 パソコンなどで microSD カード内の録画ファイルなどを変更（削除、追加、移動）しないでください。バックアップはファイルのコピーでおこなってください。

 microSD カードに本製品で記録されたデータ以外を格納しないでください。
* 正しく動作しない場合があります。

 指定の microSD カード以外は使用しないでください。
* 指定以外の microSD カードを使用すると、正常に動作しない場合があります。

 microSD カードスロットに異物を入れないでください。
* カードスロットの破損、または誤動作、故障の原因となります。

 油がついた手やぬれた手で microSD カードスロットを触らないでください。
* microSD カードの損傷、または故障などの原因となります。

 データのバックアップ、フォーマットおよび動作中には、絶対に microSD カードを取り出さないでください。
* microSD カードを損傷し、使用できなくなるおそれがあります。

 microSD カードの分解、または改造などは、絶対にしないでください。
* microSD カードが破損するおそれがあります。

 microSD カードを落下させたり、衝撃を与えないでください。
* microSD カードの破損、およびデータが損失されるおそれがあります。

 microSD カードには向きがあります。挿入するときは向きを確認して、確実に最後まで差し込んでください。
* microSD カードが正しく挿入されていないと誤動作の原因となります。

 microSD カードを別に購入する場合は、必ず使用可能が確認したうえでご購入ください。
microSD カード 8GB ~ 32GB（クラス 10/SDHC 規格準拠）、64GB ~ 128GB（クラス 10/SDXC 規格準拠）
その他、スピードクラスとして下記以上を推奨
SD スピード Class : Class10 UHS スピードクラス : U1 以上 Video スピードクラス : V30 以上
* 弊社オプション microSD カード推奨

使用上の注意

録画についての注意事項

- ・本機は自動車などの事故における証拠としての効力、ナンバープレート・車種・色などの特定を保証するものではありません。
- ・本機はすべての状況下で録画を保証するものではありません。
- ・本機の故障や使用による損害、また録画した映像の破損や損傷によって生じた損害は、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・本機の動作を確認するため、急ブレーキなど危険な運転はおやめください。
- ・本機で録画した被写体は、プライバシーの侵害となる場合があります。取り扱いにご注意ください。
- ・LED方式の信号機では録画の映像が点滅やチラつくことがあり、色の識別ができない場合があります。それにより生じた損害は、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・走行中に本機を操作したり、LEDランプ、本機の画面を注視しないでください。車を停止し、周囲の安全を確認したうえで本機を操作してください。
- ・夜間の録画した映像にノイズが入っているように見えたり、夜間の映像が白っぽく録画されることがありますが、正常動作です。
- ・環境など様々な要因により、正しく録画されない場合があります。
- ・録画の条件により、録画のフレームレートやビットレートがかわる場合があります。
- ・電源ONのあと、録画の開始まで時間がかかります。必ず録画が開始されたことを確認してからご使用ください。

取り付けについての注意事項

- ・本機は、本書にしたがって、正しく取り付けてください。【▶P14】
- ・誤った取り付けは、道路運送車両法の保安基準に違反する場合があります。また交通事故やケガの原因となります。
- ・他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を受けたり、与えたりする場合があります。
- ・本体および別体カメラは防水構造ではありません。必ず車内へ取り付けてください。
- ・本体および別体カメラを取り付ける前に、必ずガラス面またはダッシュボード（リヤトレイ）とマウントベースの両面テープ貼り付け部分の油分や汚れなどをしっかり拭き取り、確実に取り付けてください。
- ・誤作動を起こす可能性がありますので、地デジやETCなどのアンテナ近くには設置しないでください。
- ・本機を衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサーなどの近くに設置しないでください。
- ・本機の近くにGPS機能を持つ製品やVICS受信機を設置しないでください。
- ・本機を車検シールの上に貼らないでください。

microSDメンテナンスフリー機能について

- ・設定した録画画質によってmicroSDカードにセルスター独自のファイルシステムが適応されます。このファイルシステムでは、microSDカードに録画する際に発生してしまうファイルの断片化を無くし、録画データのエラー発生率を低減することができ、これにより定期的なフォーマットが不要となります。
- ※ 本機の設定内容やmicroSDカードの状態によって、ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生し、録画ファイルなどがすべて消去されます。あらかじめ、パソコンなどにバックアップすることをおすすめします。
- ※ 付属のmicroSDカードは、工場出荷時の画像モード設定でファイルシステムが適応されています。
- ※ 新規購入したmicroSDカードは使用前に必ずフォーマットが必要となります。
- ※ パソコンなどでmicroSDカード内の録画ファイルなどを変更（削除、追加、移動）しないでください。バックアップはファイルのコピーでおこなってください。

パーキングモードについて

- ・パーキングモードを設定する場合は、必ず本機に適合したオプションの常時電源コードを使用してください。直結配線DCコードなどを接続し、直接電源を供給できる状態では、パーキングモードを設定できません。
- ・パーキングモードの録画は、車両バッテリーの電源を使用するため、車両バッテリーに負担がかかります。定期的に車両バッテリーの点検をおこなってください。
- ・ハイブリッド車両は車両の充電制御の関係上、オプションの常時電源コードの電圧監視設定を11.5Vに設定しないでください。（12V設定推奨）パーキングモードによる車のバッテリーあがりに関して弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・車両バッテリーあがりに関して、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・暗い場所など録画できない場合があります。
- ・タイマー設定時間内であっても、バッテリーの電圧によっては電圧監視機能がはたらき、録画を停止します。

GPSについて

- GPSの受信環境により、動作に時間がかかる場合があります。
- 前回のGPS受信から72時間を経過すると超速GPSは機能しません。その他、様々な条件により機能しない場合があります。最後に電源をOFFにしてから直線距離で300km以上離れた地点で電源をONにした場合、最後に電源をOFFにして次に電源をONしたときにGPS衛星の状態が異なる場合は、動作に時間がかかる場合があります。
- 自車位置は、GPSの受信で測位されます。GPSが受信できない場所では、完全な自車位置の測位をおこなうことができません。
- 録画データに記録される日時、車両の走行速度、位置情報は、GPSの測位から算出するため、実際の数値と異なる場合があります。
- 取り付けになる車両のウィンドウが熱反射ガラスの場合、電波の透過率が低いいためGPSが受信しにくい場合や、できない場合があります。熱反射ガラスの使用の有無は車両のディーラーやメーカーへお問い合わせください。

本機の画面について

- 同じ映像を長時間や繰り返し表示（短時間でも）した場合、液晶パネルの性質により画面の焼付けが起こる可能性があります。これは保証の対象になりません。本機の画面の明るさを暗く調整することで、焼付けの発生を軽減できます。
- 液晶パネルの性質により、輝点や減点が発生したりスジ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これは保証の対象になりません。
- 本機の画面を太陽に向けたままにすると、故障の原因となります。車両に設置する際にはご注意ください。
- 偏光サングラス使用時、表示が見えなくなる場合があります。

タッチパネルについて

- 走行中は、必ず同乗者が操作をおこなうか、安全な場所に車両を停車してから操作をおこなってください。
- タッチパネルを強く押したり、先の尖ったもので押さないでください。タッチパネルが割れて、ケガや故障の原因となります。
- タッチパネルの反応にズレが発生した場合、設定メニューの「キャリブレーション設定」にてタッチパネルを補正してください。【➡P56】
- 本製品のタッチパネルは感圧式のため、タップした際に、画面が沈んだような状態になりますが、正常動作です。

夜間補正について

- 走行状況によっては、白とびが発生する場合があります。夜間補正またはHDR夜間補正で調整してください。【➡P35】

付属のコードについて

- 本機は専用のDCコード（3極DCプラグ）を使用してください。それ以外のDCコードを使用した場合、本機が正常に動作しません。
- 付属のカメラ接続コードは本機専用のコードです。他機種でコードを流用、または他機種のコードを利用することはできません。

アイドリングストップ車での使用について

- 一部のアイドリングストップ車では、再始動時に電源確保のため各部分への供給電圧が低下することがあります。これにより本体の電源が落ちる場合があります。

安全運転支援機能（本体カメラ・別体カメラ）について

- 安全運転支援機能を使用する前に必ず本体カメラおよび別体カメラの「キャリブレーション」設定をおこなってください。【➡P41、P44】
- 夜間や悪天候時、また昼間でも路面や走行状況によって機能が動作しない、またはひんぱんに警告する場合があります。
- 取り付けはできるだけ車両の左右の中央部に取り付けてください。中央部からはずれると判定誤差が大きくなり、警告しない、またはひんぱんに警告する場合があります。
- 安全運転支援機能の動作は目安です。実際の道路状況にしたがって走行してください。
- 安全運転支援機能による事故に関し弊社は一切の責任を負いかねます。
- セーフティレーダーの「スカウター機能」と連動しません。
- 横切る車、ヘッドランプなどのON/OFFにより警告する場合があります。

GPSおしらせ機能について

- 各種GPSデータは、弊社独自調査によるデータと、公表されているデータを参考に集計、作成しています。
- 事故多発エリアは警視庁、国土交通省の統計データより集計していますが、集計の時期またその後の道路の改良などにより実際の状況と異なる場合があります。また首都圏や都市部などでは事故多発エリアが集中し警告がひんぱんにおこなわれる場合があります。
- GPSの測位状態によっては動作しない場合があります。
- GPSおしらせ機能を使用する場合、設定メニューの「GPSおしらせ機能」を「オン」にしてください。
- 本サービスは予告なく終了させていただくことがあります。

専用ビューアソフトについて

- 専用ビューアソフトと専用ビューア説明書は、下記URLよりダウンロードしてください。
(https://www.cellstar.co.jp/dlfm/download_viewer.php)

カメラレンズの注意事項

- 本機の動作中、カメラのレンズ部分が発熱することがありますが、異常動作ではありません。レンズ部分は大変熱くなつてますので直接手で触れないようご注意ください。

事故発生時の注意事項

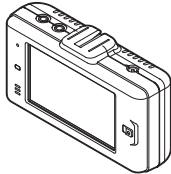
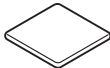
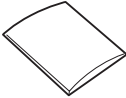
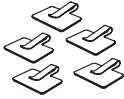
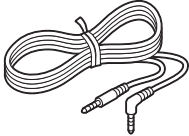
- イベント録画が保存されない場合があるため、事故発生時は本機からmicroSDカードを取り出し、付属のmicroSDカードケースに保管してください。【➡P23】
- パソコンでmicroSDカードを読み込んだ際、SDカードのエラーメッセージが表示する場合がありますがCHKDSK（チェックディスク）プログラムなどで修復処理をおこなわないでください。録画ファイルが完全に消えてしまう可能性があります。
- 記録した映像はWindows/パソコンにインストールした専用ビューアで再生してください。

梱包内容の確認

梱包内容

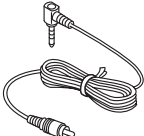
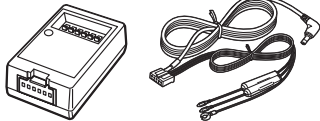
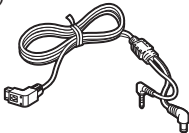
本機を使用する前に、必ず梱包内容を確認してください。

* その他注意書きが同梱している場合があります。

☐ ドライブレコーダー本体 	☐ 別体カメラ 	☐ 本体用マウントベース * あらかじめ両面テープ（ガラス用）が貼られています。 	☐ 本体用ボールジョイント（ストレート） 
☐ 本体用両面テープ（ダッシュボード用）  色：グレー	☐ 別体カメラ用マウントベース 	☐ 別体カメラ用ボールジョイント（ストレート） 	☐ 別体カメラ用両面テープ（ガラス用）  色：黒
☐ 別体カメラ用両面テープ（リヤトレイ用）  色：グレー	☐ アクセサリプラグ用 DC コード（3 極 DC プラグ） 	☐ 脱脂クリーナー 一式 	☐ microSD カード（ケース、アダプター付き） * ドライブレコーダー本体に挿入されています。  32GB
☐ コードクリップ 5 個 	☐ カメラ接続コード（片側ストレート）  コード長：9.0m	☐ 取扱説明書（本書） 	

オプション品

別途お買い求めください。

品名	使用目的／仕様	品番
ドライブレコーダー専用 microSD カード 	microSD カードを新たに購入される場合は、セルスターオプションのドライブレコーダー専用 microSD カードをおすすめします。	8GB: GDO-SD8G1 16GB: GDO-SD16G1 32GB: GDO-SD32G1 64GB: GDO-SD64G1 128GB: GDO-SD128G1
ビデオ出力コード 	録画中の映像を外部モニターに出力する場合に使用します。【⇒ P50】 * 再生映像は出力できません。	GDO-02 コード長： 1.0m GDO-08 コード長： 3.5m
常時電源コード (3 極 DC プラグ) 	パーキングモード機能を利用する場合に使用します。最大 12 時間まで電源を供給します。【⇒ P30】	GDO-10 コード長： 5.0m GDO-41 コード長： 5.0m (2A) GDO-24 コード長： 9.0m
直結配線 DC コード (3 極 DC プラグ) 	車両のヒューズボックス、ACC 線から直接電源を取る場合に使用します。	GDO-15 コード長： 5.0m GDO-42 コード長： 5.0m (2A) GDO-26 コード長： 9.0m
セーフティレーダー接続コード (12V 専用) (3 極 DC プラグ) 	カメラ警告対応の弊社製セーフティレーダーに接続し、これ 1 本で映像出力や電源入力ができます。【⇒ P52】 * 再生映像は出力できません。	GDO-11 コード長： 3.6m GDO-12 コード長： 0.8m



本機に適合したオプション品の型番、最新の情報については、弊社ホームページの接続対応表をご覧ください。

https://www.cellstar.co.jp/products/pdfs/radar_drive/taiou.pdf

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

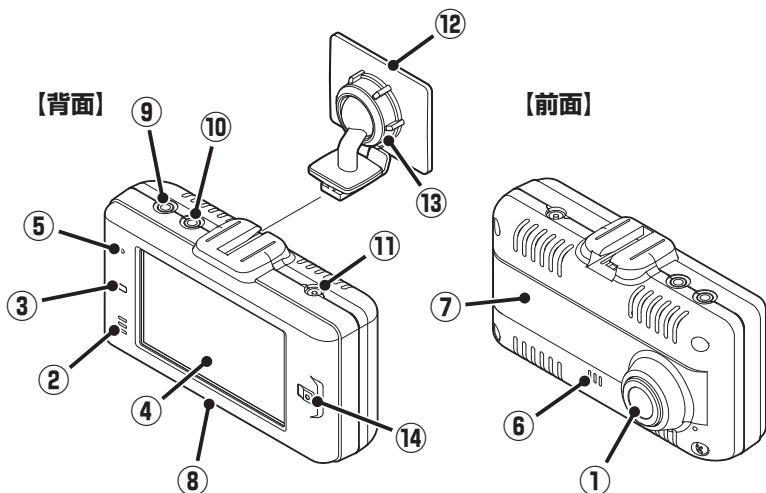
困ったときは

その他

アフター
サービス

各部の名称と機能

本体



① 撮影用カメラレンズ

* 出荷時に保護フィルムが貼られています。
剥がしてから、使用してください。

② マイク

録画中の音声を録音します。

③ LEDランプ

本機の動作状態を表示します。

④ 画面（感圧式タッチパネル）

カメラの録画映像、再生、設定メニューの変更画面などを表示し、指でタップして操作します。

* 本体を反転し電源を入れると、本機の画面も反転します。

⑤ リセットボタン

本機を再起動します。

⑥ スピーカー

各種警告を音声出力します。（モノラル）

⑦ GPS

GPS、みちびき、グロナス、ガリレオなどの衛星を受信します。

⑧ microSDカードスロット

付属またはオプションの microSD カードを挿入します。
* microSD カードを挿入していないと録画が開始されません。

⑨ カメラ接続端子

付属のカメラ接続コード（L 字端子側）で別体カメラを接続します。

* 端子の向きは入れかわっても使用上問題はありません。

⑩ V-OUT（ビデオ出力端子）

オプションのビデオ出力コード、または弊社製セーフティレーダー接続コードを接続し、映像を出力します。

⑪ DC12V/24Vソケット

付属のアクセサリプラグ用 DC コード（3 極 DC プラグ）またはオプションの直結配線 DC コードを接続し、DC12V/24V を本機に入力します。

⑫ 本体用マウントベース

あらかじめ貼られている両面テープでフロントガラスに取り付けます。

* ダッシュボードに取り付ける場合、付属の本体用ボールジョイント（ストレート）に交換して、本体用両面テープ（ダッシュボード用）に貼りかえて取り付けてください。

⑬ 角度調整ノブ

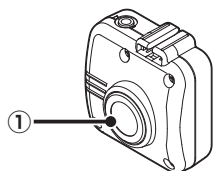
本機の取り付け角度を調整します。

⑭ クイック録画ボタン

クイック録画を開始します。

別体カメラ

【前面】



① 撮影用カメラレンズ

- * 出荷時に保護フィルムが貼られています。剥がしてから、使用してください。

② 別体カメラ用マウントベース

付属の別体カメラ用両面テープ（ガラス用 / リヤトレイ用）でリヤガラスまたはリヤトレイに取り付けます。

- * リヤトレイに取り付ける場合、ボールジョイントを付属の別体カメラ用ボールジョイント（ストレート）に交換してから取り付けてください。

③ 角度調整ノブ

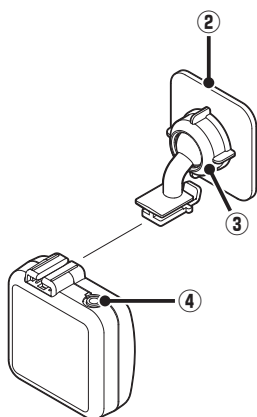
別体カメラの取り付け角度を調整します。

④ カメラ接続端子

付属のカメラ接続コード（ストレート端子側）で本体に接続します。

- * 端子の向きは入れかわっても使用上問題はありません。

【背面】



はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

取り付け方法

⚠ 注意

本機を車両に取り付ける前に、次の内容を確認のうえ取り付けてください。

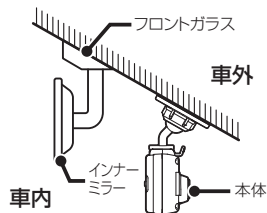
- 本機の誤った取り付けは、道路運送車両法の保安基準に違反する場合があります。正しく取り付けてください。
- 本機を安全に取り付けるために、取り付け作業は明るく安全な場所でおこなってください。
- 本機を取り付ける前には、必ず車のパワー（イグニッション）スイッチをオフにし、キーを抜いた状態で取り付けてください。
- 本機に専用のDCコード（3極DCプラグ）以外のコードを使用しないでください。
- 本体および別体カメラを設置した部分のガラスに汚れがあると十分な映像を撮影できない可能性がありますので、いつもきれいに保ってください。
- 夜間走行時にはカーナビゲーションおよび、車両用モニターがフロントガラスに映り込み、録画映像に影響を与えることがあります。映り込み画像が撮影領域に入らないように角度を調整してください。
- 本機は上空からのGPS信号を受信して自車位置を記録します。そのため本体の上や前（車の進行方向）などに金属などの障害となるものがないよう取り付けてください。
- 本体および別体カメラは防水構造ではありません。雨などで本機やコードがぬれないようご注意ください。

⚠ 警告

事故発生時の衝撃により本体および別体カメラがはずれる場合があります。ガラス面またはダッシュボード（リヤトレイ）表面のマウントベースの両面テープ貼り付け部分の油分や汚れを付属の脱脂クリーナーでしっかり拭き取り、本体および別体カメラを確実に取り付けてください。

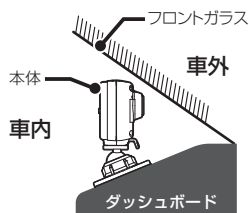
本体と別体カメラの設置場所（推奨）

■ 本体をフロントガラスに取り付ける場合



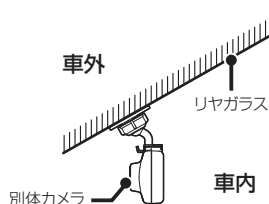
【➡ P15】

■ 本体をダッシュボードに取り付ける場合



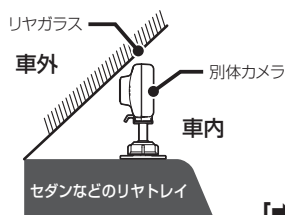
【➡ P16】

■ 別体カメラをリヤガラスに取り付ける場合



【➡ P17】

■ 別体カメラをリヤトレイに取り付ける場合

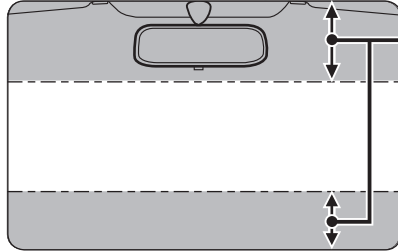


【➡ P19】

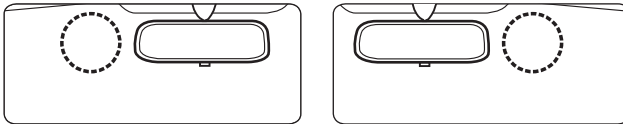
本体をフロントガラスに取り付ける場合

フロントガラスへの取り付け位置（正面）

フロントガラス



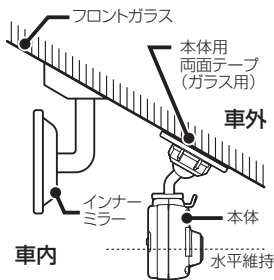
フロントガラス上部からフロントガラス全体の20%以内またはフロントガラス下部から150mm以内に付けてください。



フロントガラスの中央部に設置できない場合は、広い視野角を活用して車両のインナーミラーの左、もしくは右側に設置することもできます。
中央部に設置できない場合、録画映像が片方にかたよる可能性があります。

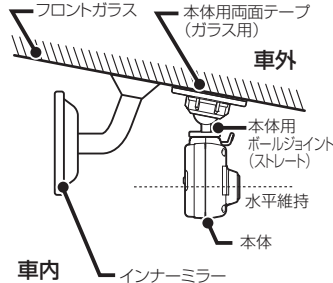
フロントガラスへの取り付け位置（側面）

■ 一般的な乗用車

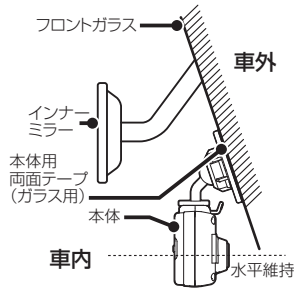


■ フロントガラスが寝ている車

* 本体用ボールジョイント(ストレート)に交換します。



■ ワンボックスやトラックなど



- 図のように前方を遮ることがないように取り付けてください。
- 図のように本体が水平を維持するように取り付けてください。図のように水平が維持できていないと、正しい状態で録画できません。
- 本体を反転した状態で電源を入ると、本機の画面も反転します。DCコードは本体の取り付けが完了してから接続してください。

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

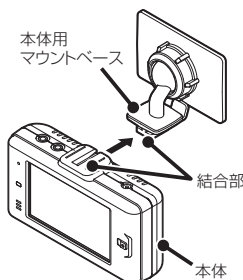
困ったときは

その他

アフターサービス

フロントガラスへの取り付け

- 1 本体用マウントベースと本体の結合部をあわせ、矢印の方向に差し込む。

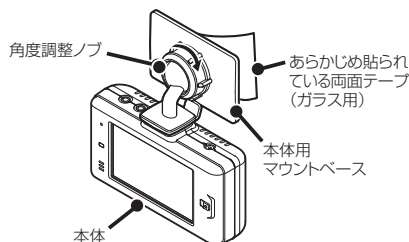


- 2 あらかじめ貼られている両面テープ（ガラス用）を使用して本体を設置する場所に取り付ける。

* 推奨フロントガラス設置位置を参照して、取り付けてください。

- 3 角度調整ノブを右側に回して本体を固定する。

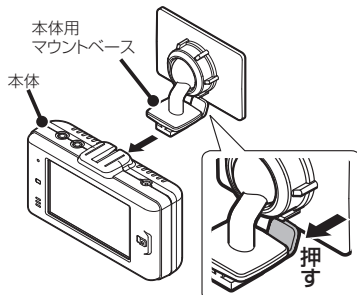
角度調整ノブを緩めると本体の取り付け角度を調整できます。



* 必要に応じて、先に本体用マウントベースを車両側に取り付けてから本体を設置してください。

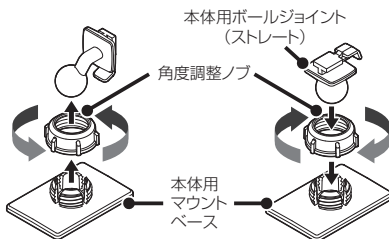
本体用マウントベースから本体を取りはずす

本体用マウントベースのツメ部を押し、本体を矢印の方向に引きはします。



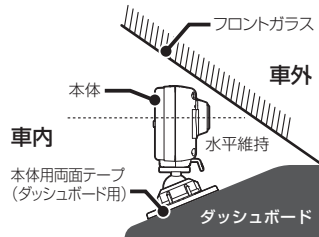
本体をダッシュボードに取り付ける場合

本体用マウントベースから角度調整ノブをはずし、本体用ボールジョイント（ストレート）に付けかえ、本体用両面テープ（ダッシュボード用）に貼りかえます。



* 先に本体用ボールジョイント（ストレート）を角度調整ノブに差し込み、本体用マウントベースに取り付けてください。

図のようにカメラ前方を遮ることがないように取り付けてください。



* 電源を入ると自動で画面が反転します。

* GPS信号を受信できる場所に取り付けてください。

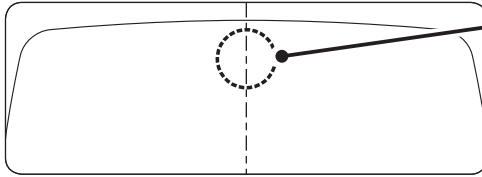
別体カメラをリヤガラスに取り付ける場合

* セダンなどのリヤトレイに設置することもできます。【➡P19】

取り付け位置（正面）

図のように別体カメラ後方を遮ることがないように取り付けてください。

リヤガラス



リヤガラスの中央位置に設置すると、最適な録画映像を得ることができます。

⚠ 注意 リヤガラスに別体カメラを取り付ける前に下記内容を必ず確認してください。

- ・事故発生時の衝撃により別体カメラがはずれる場合があります。ガラス面の油分や汚れを付属の脱脂クリーナーでしっかり拭き取り、別体カメラを確実に取り付けてください。
- ・リヤのサンシェードなどに問題がないことを確認してください。
- ・両面テープの貼り付け面がリヤガラスの熱線と重ならないように取り付けてください。
- ・プライバシーガラスやフィルムを貼られてる車両は、夜間や暗い場所では録画した映像が見づらくなる場合があります。
- ・ラジオアンテナやGPS、地デジアンテナ付近にカメラ接続コードを配線すると、これらの受信感度が下がる場合があります。
- ・リヤワイパーが装着された車両の場合、ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。
- ・リヤワイパー非装着車およびワイパー拭き取り範囲外に取り付けると、リヤガラスの汚れや雨などにより録画映像が見づらくなる場合があります。
- ・エアバッグの動作や運転の妨げにならない位置に取り付けてください。
- ・ハイマウントストップランプの光や、後続車両のライトにより録画した映像が見づらくなる場合があります。
- ・取り付けにより車両に問題が発生した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・リヤガラスが可動する車両やリヤガラスにフィルムを貼られている車両は、別体カメラをリヤトレイなどに取り付けてください。
- ・後方の安全運転支援機能（煽り運転防止）を有効にするには、「キャリブレーション（別体カメラ）」の設定をおこなってください。【➡P44】

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

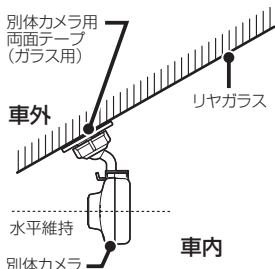
その他

アフター
サービス

取り付け位置（側面）

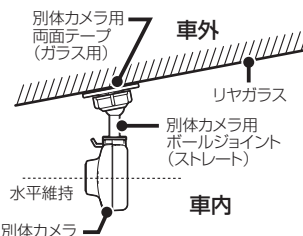
- 図のように別体カメラ後方を遮ることがないように取り付けてください。
- 別体カメラが取り付けいた状態で、図のように別体カメラが水平を維持するように取り付けてください。図のように水平が維持できていないと、正しい状態で録画できません。
- 取り付け場所によっては、リヤガラスの熱線やプライバシーガラスが映像の邪魔となる場合があります。

■ 一般的な乗用車

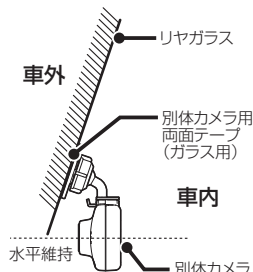


■ リヤガラスが寝ている車

* 別体カメラ用ボールジョイント（ストレート）に交換します。

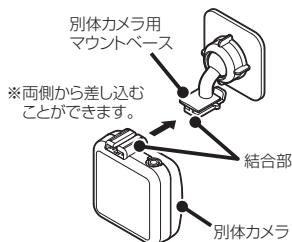


■ ワンボックスやトラックなど



リヤガラスへの取り付け

1 別体カメラ用マウントベースと別体カメラの結合部をあわせ、矢印の方向に差し込む。

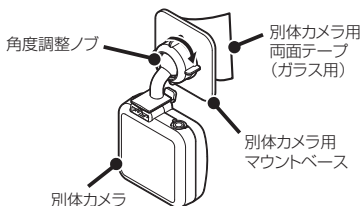


2 別体カメラ用両面テープ（ガラス用）を使用してリヤガラスに取り付ける。

- * 推奨の設置位置を参照して、熱線を避けて取り付けてください。

3 角度調整ノブを右側にまわして別体カメラを固定する。

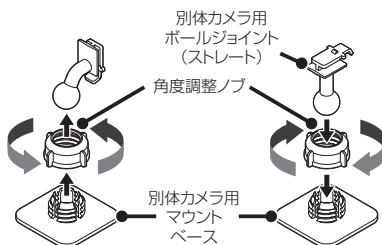
角度調整ノブを緩めると別体カメラの取り付け角度を調整できます。



- * 必要に応じて、先に別体カメラ用マウントベースを車両両側に取り付けてから別体カメラを設置してください。
- * 設定メニューの「別体カメラ録画、表示設定」で「上下反転」設定を「マウントベース上」に変更してください。【➡P20】

別体カメラをリヤトレイに取り付ける場合

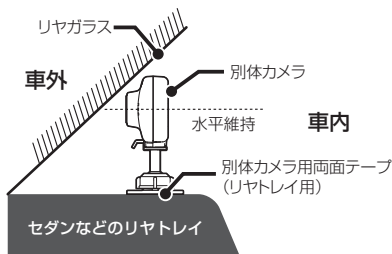
別体カメラ用マウントベースから角度調整ノブをはずし、別体カメラ用ボールジョイント（ストレート用）に付けかえます。



* 先に別体カメラ用ボールジョイント（ストレート）を角度調整ノブに差し込み、別体カメラ用マウントベースに取り付けてください。

取り付け位置（側面）

図のように後方を遮ることがないように取り付けてください。



* 設定メニューの「別体カメラ録画、表示設定」で「上下反転」設定を「マウントベース下」に変更してください。【➡P20】

⚠ 注意 リヤトレイに別体カメラを取り付ける前に下記内容を必ず確認してください。

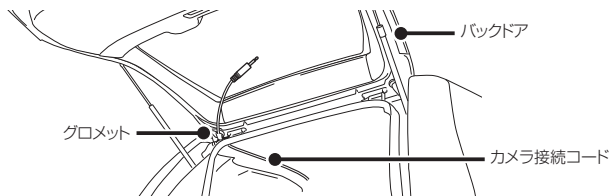
- ・事故発生時の衝撃により別体カメラがはずれる場合があります。リヤトレイの油分や汚れを付属の脱脂クリーナーでしっかり拭き取り、別体カメラを確実に取り付けてください。
- ・リヤのサンシェードなどに問題がないことを確認してください。
- ・プライバシーガラスやフィルムを貼られてる車両は、夜間や暗い場所では録画した映像が見づらくなる場合があります。
- ・ラジオアンテナやGPS、地デジアンテナ付近にカメラ接続コードを配線すると、これらの受信感度が下がる場合があります。
- ・リヤワイパーが装着された車両の場合、ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。
- ・リヤワイパー非装着車およびワイパー拭き取り範囲外に取り付けると、リヤガラスの汚れや雨などにより録画映像が見づらくなる場合があります。
- ・エアバッグの動作や運転の妨げにならない位置に取り付けてください。
- ・ハイマウントストップランプの光や、後続車両のライトにより録画した映像が見づらくなる場合があります。
- ・取り付けにより車両に問題が発生した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・後方の安全運転支援機能（煽り運転防止）を有効にするには、キャリブレーション（別体カメラ）の設定をおこなってください。【➡P44】

本体と別体カメラを接続

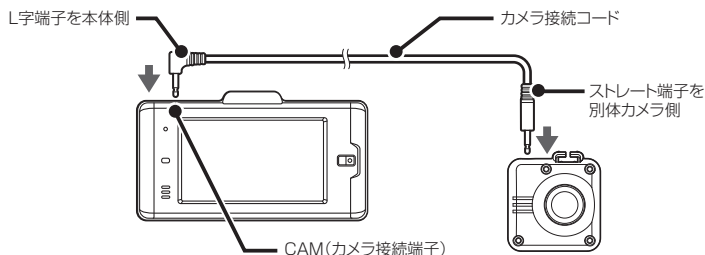
接続方法

1 別体カメラに接続するカメラ接続コードを配線する。

バックドアがある車は、カメラ接続コードをグローメット内に通して配線してください。



2 付属のカメラ接続コードで本体と別体カメラを接続する。



* カメラ接続コードの端子の向きは入れかわっても使用上問題ありません。ガラスに干渉しないよう接続してください。

⚠ 注意

- カメラ接続コードのプラグを奥までしっかりと差し込んでください。
- カメラ接続コードは、雨漏りしないよう配線してください。
- 付属のカメラ接続コードは本機専用のコードです。他機種でコードを流用することはできません。

別体カメラの設定

別体カメラの設置場所にあわせて設定メニューの「別体カメラ録画、表示設定」を変更します。

【→P35、P37】

■ 推奨設定

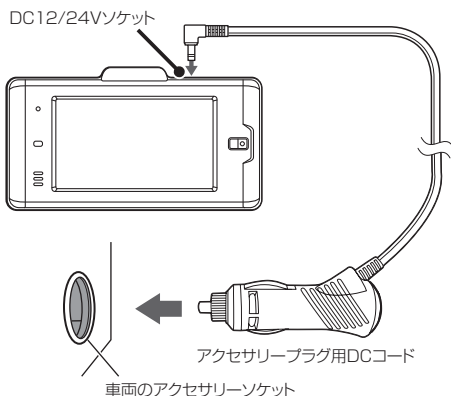
- 上下反転
別体カメラをリヤガラスに設置する場合：マウントベース上
別体カメラをリヤトレイに設置する場合：マウントベース下
- 正像鏡像
別体カメラの映像をそのまま表示する場合：正像
別体カメラをバックカメラのように使用する場合：鏡像

アクセサリソケットから電源を取る場合

付属のDCコードのプラグをアクセサリソケットに接続します。

✓ アドバイス

- 一部の車種において付属のDCコードが、アクセサリソケットの形状とあわない場合があります。
- 3極DCプラグ以外のDCコードを接続しないでください。正常に電源が入力されません。



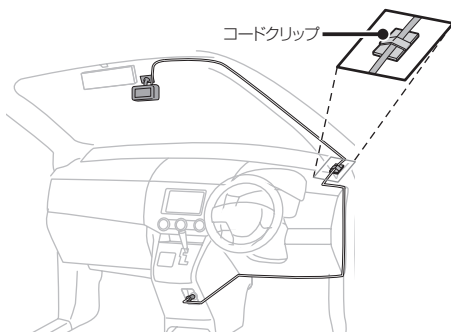
✓ アドバイス

パワー（イグニッション）スイッチをオンにして本機の電源が入らない場合は、以下の点を点検してください。

- コード類の接続
- 車、またはDCコード内のヒューズ切れ

配線処理

コード類は運転の妨げとならないように、付属のコードクリップなどを利用して、配線処理してください。余分なコード類はビニールテープなどでしっかり束ねてください。コード類を表面に出したくない場合は、ガラスと内張りなどの隙間やパッキン類の隙間に入れます。

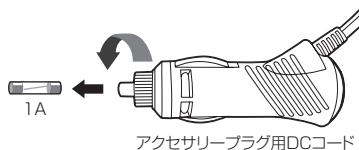


⚠ 注意

- 配線の際、エアバッグの内蔵されている内張りなどの周囲では、十分に注意して作業をおこなってください。また、エアバッグの内蔵されている部品などをはずさないでください。必要な場合には、必ずカーディーラーの指示を受けてください。コードが可動部分に挟み込まれたり、無理に曲げたりしないように配線処理してください。
- コードを車のダッシュボードなどに固定した場合は、ダッシュボードなどの材質や使用環境により、コードの被覆がダッシュボードなどに色移りする場合があります。十分ご注意ください。

ヒューズが切れた場合

ヒューズ（1A）を交換します。



* ヒューズを取り出す際は、プラグ内のバネやヒューズなどが飛び出す場合がありますのでご注意ください。

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフターサービス

microSDカードの挿入および取り出し

⚠ 注意

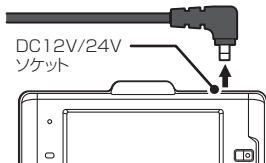
microSD カードを使う前に、次の内容を確認してご使用ください。

- microSDカードは、指定のmicroSDカードをご使用ください。なお、microSDカードは、本機に挿入されています。指定以外のmicroSDカードを使用されると、データの損失や録画できない可能性があります。
- microSDカードを電源がONになっている状態で抜き差ししないでください。本機が正常に動作しない場合があります。
- microSDカードを取り出すときは、本機からDCコードをはずし、必ず本体の動作LEDが消えたことを確認してください。その後microSDカードを取り出してください。
動作LEDが点灯している状態でmicroSDカードを取り出すと録画を終了することができず、録画ファイルへの記録が中断されるか一部分が削除されるなど、場合によってはmicroSDカードが破損するおそれがあります。
- microSDカードをフォーマットする際は、必ず本機のフォーマット機能でおこなってください。
- 本機の設定変更やmicroSDカードの状態によって、ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生し、録画ファイルなどがすべて消去されます。あらかじめ、パソコンなどにバックアップすることをおすすめします。
- 付属のmicroSDカード以外を挿入すると、microSDカード異常エラーやmicroSDカードファイルシステムエラーを表示する場合があります。画面の指示にしたがってフォーマットをおこなってください。
- microSDカードの容量によっては、起動時間が変動（長くなったり）する場合があります。
- パソコンなどでmicroSDカード内の録画ファイルを変更（削除、追加、移動）しないでください。バックアップはファイルのコピーでおこなってください。
- 本体の設定情報は、microSDカード内に保存されています。本機以外でフォーマットや新たなmicroSDカードを使用すると、設定情報が無いため、本機の設定は初期値にもどります。

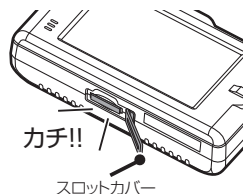
microSDカードの挿入

* 必ず、本体からDCコードをはずし、電源がOFFになっていることを確認してからおこなってください。

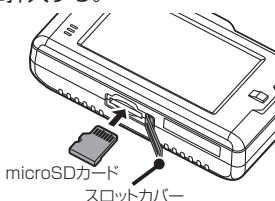
- 1 本体からDCコードをはずし、電源がOFFになっていることを確認する。



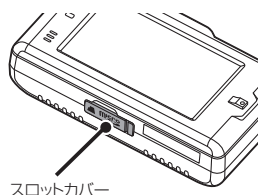
- 3 microSDカードがスロット内部に確実に差し込まれたことを確認する。



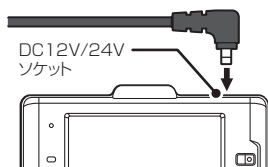
- 2 本体のスロットカバーをめくり、microSDカードの向きに注意してスロットに挿入する。



- 4 スロットカバーを閉じる。



5 本体にDCコードを接続する。



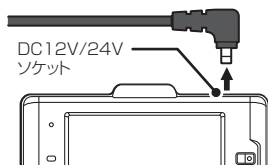
⚠ 注意

- microSDカードを挿入していないと録画が開始されません。
- microSDカードには向きがあります。差し込む向きに注意して最後まで確実に挿入してください。正しく挿入されていないとmicroSDカードの破損、および誤動作の原因になります。
- microSDカードの接続端子には手を触れないでください。汚れや異物が付着するとカード内のデータが損失するおそれがあります。

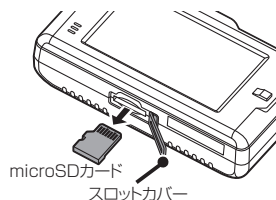
microSDカードの取り出し

※ 必ず、本体からDCコードをはし、電源がOFFになっていることを確認してからおこなってください。

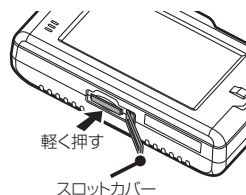
1 本体からDCコードをはし、電源がOFFになっていることを確認する。



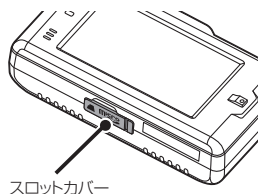
3 microSDカードを取り出す。



2 本体のスロットカバーをめくり、microSDカードを軽く押し込む。



4 microSDカードを取り出したあと、スロットカバーを閉じる。



はじめに

取り付けと
準備基本操
作各種設
定

困ったときは

その他

アフター
サービス

製品の使用方法

⚠ 注意

製品を使用する前に次の内容を熟知してください。

- 車の運転中は本機の操作を絶対にしないでください。
- 録画は、microSDカードが正しく挿入されているときのみ可能です。
- 録画中にmicroSDカードが取り出されると警告音となり、録画した映像の一部が削除したりmicroSDカードがこわれる場合があります。
- 電源ONのあと、録画の開始まで時間がかかります。必ず録画が開始されたことを確認してからご使用ください。

電源のON/OFF

CELLSTAR

■ 電源のON

本機には電源ボタンがありません。

車のパワー（イグニッション）スイッチをオンにすると、本機の電源がONになり、効果音（♪ピロリロリン）とボイスアシスト（常時録画を開始します）を出力し、常時録画が開始されます。

- * 本機の電源がONにならない場合、「故障かな?と思ったら」を参照してください。
[➡P58]

* 画像モード設定により本機の画面に表示されるカメラ映像の解像度は異なります。

* 電源をONにしたときに画面の向きを自動的に反転して調整します。

* 設定メニューの「パーキングモードおしらせ」を「オン」にすると、本機の起動時に現在のパーキングモードをお知らせします。[➡P33]

■ 電源のOFF

パワー（イグニッション）スイッチをオフにすると、スーパーキャパシタ*により、最後の録画ファイルを安全に保存します。動作LEDが消灯し、効果音（♪ピ）のあと、自動的に電源がOFFになります。

- * スーパーキャパシタ：高温に強く安全性が高い、蓄電能力を持つコンデンサ。

エラーメッセージ

SDカード認識エラー

SDカードが「挿入されていない」
「フォーマットされていない」
「破損している」などの異常です。

■ microSDカード認識エラー

microSDカードが「挿入されていない」、「フォーマットされていない」、「破損している」などの異常が発生した場合、動作LEDが消灯し、効果音（♪ポロロン*繰り返し）とボイスアシスト（SDカードを認識しません）を出力し、本機の画面に左のエラーを表示します。

- * フォーマットしても本機の画面に「SDカード認識エラー」を表示する場合は、新しいmicroSDカードに交換してください。

SDカードエラー

SDカードのファイルシステム、またはアロケーションサイズが間違っているため、SDカードをフォーマットします。
(フォーマットするとデータは全て消去されます)

実行

■ microSDカードファイルシステムエラー

新しいmicroSDカードと交換してmicroSDカードのファイルシステム、またはアロケーションサイズが違ってしまった場合、動作LEDが消灯し、効果音（♪ポロロン*繰り返し）を出力し、本機の画面に左のエラーを表示し、フォーマットの確認をおこないます。

- * 「実行」ボタンをタップすると確認画面に切りかわります。再度「実行」ボタンをタップしてフォーマットを実行してください。

カメラ異常

カメラに異常があります。
カスタマーサービスまで
ご連絡ください。

■ カメラ異常エラー

カメラの初期化エラーなどが発生した場合、動作LEDが消灯し、効果音が出され、本機の画面に左のエラーを表示します。

- * 本機の画面に「カメラに異常があります」を表示した場合は、カスタマーサービスまでご連絡ください。

SDカードエラー

SDカードに異常があります。
SDカードを交換してください。

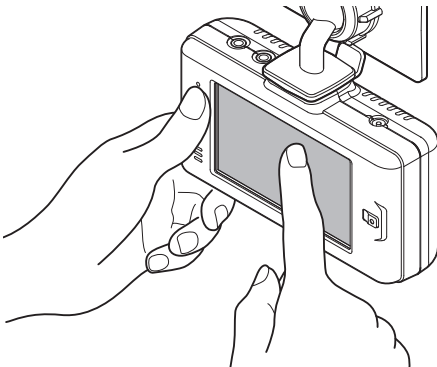
■ microSDカード異常エラー

microSDカードの書き込み禁止モードを検知した場合、動作LEDが消灯し、効果音（トボロロン*繰り返し）を出力し、本機の画面に左のエラーを表示します。

- * 新しいmicroSDカードに交換してください。

タッチパネルについて

本機の操作は、タッチパネルに直接触れて（タップして）おこないます。操作する際は、本機を図のように片手で支え、画面に表示されたボタンを指先でタップしてください。



タッチパネルの操作

タップ：画面をタッチして、すぐ指を離す動作

ロングタップ：画面をタッチして、ゆっくり数えて3秒後に指を離す動作

⚠ 注意

- 市販の液晶保護シートやシールを貼ると、スムーズに動かなくなる場合があります。
- 片手で本機を支えながらタッチパネルを操作してください。本機の傾き方が変化すると3Gセンサーによって機能の一部に影響が出る場合があります。誤作動を起こした場合は、傾きをもどし電源を入れなおしてください。
- 操作の実行は、タッチパネルをタップして指を離れたときに判定されます。またタップした場所と指を離れた場所が大きく移動していた場合、正しく判定されない場合があります。
- 本機のタッチパネルは感圧式です。しっかりタップして操作してください。また2箇所以上同時に押すと誤作動の原因となります。
- 本製品のタッチパネルは感圧式のため、タップした際に、画面が沈んだような状態になりますが、正常動作です。
- タッチパネルの反応にズレが発生した場合、設定メニューの「キャリブレーション設定」にてタッチパネルを補正してください。【➡P56】

⚠ 注意

製品を使用する前に次の内容を熟知してください。

- 走行中は、本製品を絶対に操作しないでください。交通事故の原因となります。走行中は、必ず同乗者が操作をおこなうか、安全な場所に車両を停車してから操作をおこなってください。
- タッチパネルを強く押したり、先の尖ったもので押さないでください。タッチパネルが割れて、ケガや故障の原因となります。
- タッチパネルの汚れは市販の眼鏡拭きなどで乾拭きしてください。水、有機溶剤および酸・アルカリなどの薬品で表面を拭くと故障の原因となります。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

本機の画面

本機の電源がONになると、常時録画を開始し、次の画面を表示します。

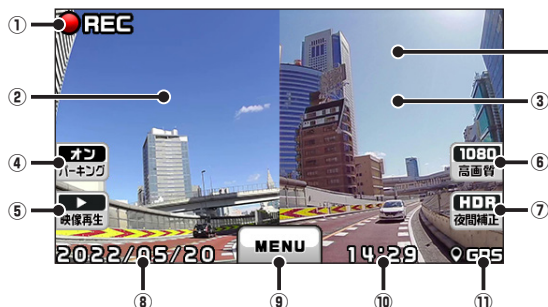
画面をタップして、モード切替画面から設定メニューの変更や録画映像の再生などがおこなえます。

* 再生する場合は「再生モード」【➡P39】、設定メニューの変更は「設定の変更方法」【➡P34】をご覧ください。

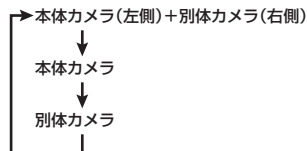
* 工場出荷時の表示状態となります。

* アイコン表示オフ、V-OUT時は、画面をタップするとモード切替画面に切りかわります。

常時録画の画面（別体カメラ接続時）



別体カメラ接続時、画面をロングタップ（3秒後指を離す動作）すると、本機の画面に表示される映像が次のように切りかわります。



常時録画の画面（別体カメラ未接続時）



■ 画面アイコンの種類

アイコン	内容
① 録画モード	● REC 常時録画：タップすると手動でクイック録画を開始します。 ● EVENT イベント録画：録画中は操作できません ● QUICK クイック録画：録画中は操作できません
② 本体カメラの映像	工場出荷時、本体カメラの映像を 2 分割の左側に表示します。
③ 別体カメラの映像	工場出荷時、別体カメラの映像を 2 分割の右側に表示します。
④ パーキングモード	- オン パーキング アイコンをタップするとパーキングモードのオン/オフが切りかわります。【➡ P33】 - オン（録画ファイルあり） - オフ * オプションの常時電源コードを接続すると表示されます。
⑤ 映像再生	アイコンをタップすると再生モードにショートカットします。【➡ P39】

アイコン	内容
⑥ 画像モード設定	1080 カスタム カスタム
	1080 高画質 高画質
	720 標準画質 標準画質
	480 長時間 長時間
⑦ 本体カメラ設定アイコン	ノーマル CAM ノーマル
	HDR CAM HDR
	夜間補正 CAM 夜間補正
	HDR 夜間補正 HDR 夜間補正
⑧ 年月日	内蔵時計の年月日を表示します。 * 内蔵 GPS で更新
⑨ MENU ボタン	MENU モード切替画面に切りかわります。
⑩ 時間	内蔵時計の時間を表示します。 * 内蔵 GPS で更新
⑪ GPS	GPS GPS を測位するとアイコンが表示されます。
⑫ 別体カメラ未接続アイコン	NO CAM 別体カメラ未接続時に表示します。

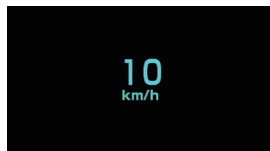
* 設定メニューの「アイコン表示」を「オフ」にするとアイコンを非表示にできます。【➡P36】

* 設定メニューの「インポーズ記録」を「オン」にすると、記録映像の上に重ねて現在の日時情報、現在地の緯度経度、走行速度を録画できます。【➡P36】

設定メニューの「画面表示」で以下のように表示画面を変更できます。【➡P35】

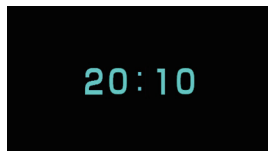
* 画面表示が「オン 時計」、「オン 速度」、「オフ」、「オールオフ」の場合、画面をタップするとカメラ映像を表示して操作が可能になります。

* カメラ映像を表示していない場合も録画されます。

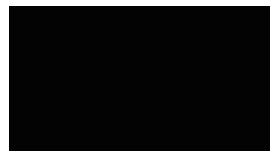


オン 速度

* GPSが未測位のときは「--km/h」と表示されます。



オン 時計



オフまたはオールオフ

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

録画方法

録画モードについて

本機の電源がONになると本体の動作LEDが点滅し、常時録画が開始されます。

録画モードの状態は、画面アイコンで確認できます。【➡P26】

* 録画中の音声を録音しない場合、設定メニューの「音声録音」を「オフ」にしてください。【➡P35】

常時録画モードとイベント録画モード

■ 常時録画

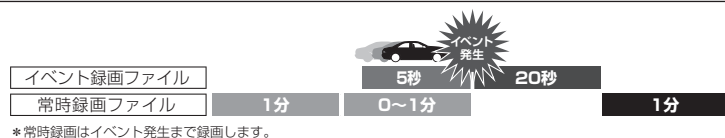
効果音（♪ピロリロリン）とボイスアシスト（常時録画を開始します）を出力し、常時録画が開始されます。

常時録画中、動作LEDは緑色点滅（1秒間点灯と1秒間消灯を繰り返す）し、1分単位で録画し続けます。



■ イベント録画

常時録画中にイベント（走行中の外部衝撃や事故）が発生した場合や手でクイック録画を開始した場合、常時録画を中断して、効果音（♪ピロリロリン*速い）とボイスアシスト（イベント録画を開始します / クイック録画を開始します）を出力し、前後のイベント録画ファイルを生成します。イベント録画中、動作LEDが速い緑色点滅（0.5秒点灯と0.5秒消灯を繰り返す）します。録画終了後、常時録画にもどります。



* イベントとは、衝撃を検知した場合という意味で使用しています。3Gセンサーが高感度に設定されている場合、細かな衝撃も検知します。3Gセンサー感度が低感度に設定されている場合、強い衝撃のみ検知します。設定メニューの「3Gセンサー感度」で調整することができます。【➡P35】

* 車や運転の状態など様々な要因により、イベント録画にならない場合があります。

* 録画ファイルがmicroSDカードの録画領域を超えた場合、古いデータから上書きされます。

* 常時録画とイベント録画で生成されたファイルは指定のフォルダに保存されます。

* イベント録画（手動による撮影も含む）中は、タッチパネルの操作を受け付けません。

* 録画中の状況により、録画のビットレートは可変します。

* 事故などが発生した場合、録画ファイルが上書きされないよう、本機からmicroSDカードを取り出して保管してください。

* スーパーキャパシタ（蓄電能力を持つコンデンサ）により、事故の衝撃で電源コードがはずれてしまっても録画映像を正常に保存します。蓄電状況によっては、正常に保存されない場合があります。

* 別体カメラを接続していない場合でも映像（黒）として記録されます。

microSDカードの保存先とファイル名について

録画モード	保存フォルダ名	ファイル名	
常時録画	INFINITE 1: 本体カメラ映像 2: 別体カメラ映像	通常時	: NNF_****.avi
		パーキングモード	: PNF_****.avi
		パーキングモード (モーション)	: PMF_****.avi
イベント録画	EVENT 1: 本体カメラ映像 2: 別体カメラ映像	通常時	: NEF_****.avi
		パーキングモード	: PEF_****.avi

* ファイル名 (****) に年月日-時分秒-インデックス(識別)_カメラ番号 (1: 本体カメラ/2: 別体カメラ) が入ります。
(例: 221021-162810-1_1は、2022年10月21日16時28分10秒、本体カメラ)

* 録画ファイルをロックした場合、ファイルは上書きされなくなります。【→P39】

クイック録画機能 (手動)

手動でイベント録画するための機能です。

録画データは、microSDカードの [EVENT] フォルダに保存されます。

* 設定メニューの「アイコン表示」を「オン」にしてください。【→P36】

* V-OUT (ビデオ出力) がオン時または、画面表示がオフ時は動作しません。

* 録画映像は、クイック録画を開始した5秒前と20秒後を含み録画します。

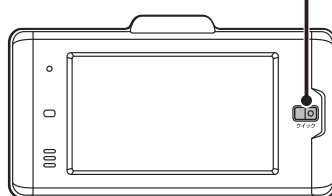
* この機能は、本機がイベント録画中である場合は使用できません。

* 画面表示が「オン 時計」、「オン 速度」、「オフ」、「オールオフ」の場合、画面をタップするとカメラ映像を表示して操作が可能になります。

1 本機の動作中に画面左上の【●REC】をタップ、または本体のクイック録画ボタンを押す。

【●REC】

クイック録画ボタン



効果音 (♪ピロリロリン*速い) とボイスアシスト (クイック録画を開始します) を出力し、クイック録画が開始されます。クイック録画中、動作LEDが速い緑色点滅 (0.5秒点灯と0.5秒消灯を繰り返す) します。クイック録画終了後、常時録画モードにもどります。



パーキングモードについて

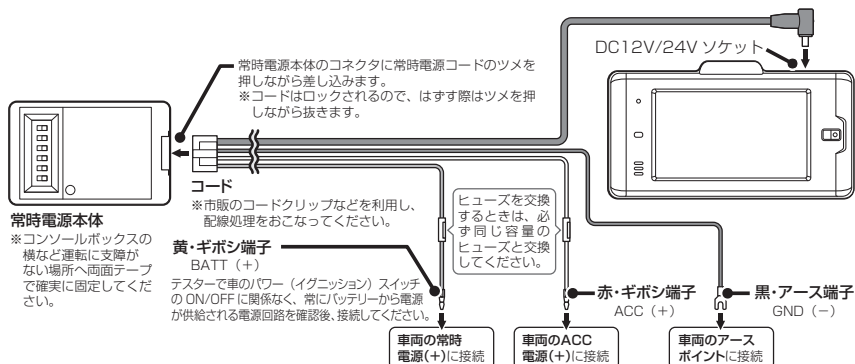
本機に適合したオプションの常時電源コードを接続し、設定メニューの「パーキングモード」を「オン」にすると、タイマー機能、電圧監視機能により、最大12時間本機に電源を供給します。録画方式は常時、モーション、常時＋イベント、モーション＋イベントから選択できます。

パーキングモードは、パワー（イグニッション）スイッチをオフにし、ACCがOFFになってから約6秒後に作動します。（画面が消え、動作LEDが遅く点滅します。）パワー（イグニッション）スイッチをオンにし、ACCがONになると約6秒後にパーキングモードが解除され、常時録画になります。

⚠ 警告

- ・パーキングモードを設定する場合は、必ず本機に適合したオプションの常時電源コードを使用してください。直結配線DCコードなどを接続し、直接電源を供給できる状態では、パーキングモードを設定できません。
- ・パーキングモードによる車のバッテリーあがりに関して弊社は一切の責任を負いかねます。お客様自身にて、定期的なバッテリー点検をおすすめいたします。
- ・暗い場所など録画できない場合があります。
- ・設定メニューの「パーキングモード」を「オフ」に設定しても電源が供給されます。完全に電源の供給をオフにするには、常時電源コード本体のディップスイッチにて時間設定を「0時間」に切りかえてください。【→P31】
- ・パーキングモードは、周囲の状況により、正常に動作しない場合があります。
- ・車両がスリープモード時に電圧降下しない電源に配線してください。
- ・タイマー設定時間内であっても、バッテリーの電圧によっては電圧監視機能がはたらき、録画を停止します。

取り付け方法



- ※ オプションの常時電源コードに付属の取扱説明書をよく読み、正しく設定のうえ、ACCがOFFのときに接続してください。
- ※ 本機がオプションの常時電源コードを認識できない場合やパーキングモード中、DCコードを抜いた場合、パワー（イグニッション）スイッチをOFFにし、動作LED点灯を確認後、パワー（イグニッション）スイッチを入れなおしてください。

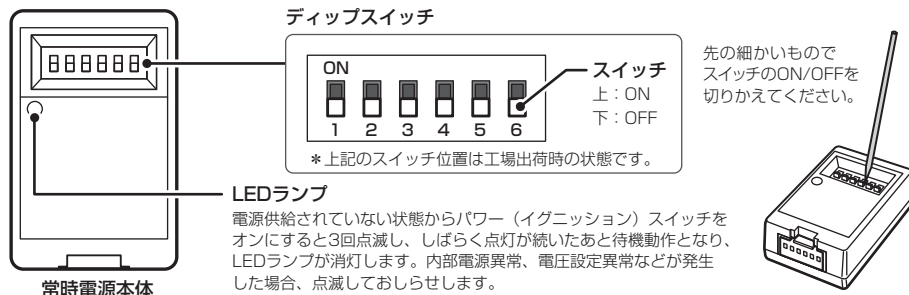
パーキングモードの録画仕様について

画像	D1
画質	低
明るさ	中
コントラスト	中

- ※ パーキングモード中のバッテリー電源供給時間は、常時電源本体のディップスイッチの設定で動作します。【→P31】
- ※ 別体カメラを認識していない場合（カメラ接続コードがはずれたなど）、本体カメラだけで録画されます。【→P26】

常時電源コードの設定

オプションの常時電源コードは、常時電源本体のディップスイッチにて設定します。



■ パーキングモードの時間設定

【スイッチ1～3】タイマー機能によって電源供給する時間を設定します。設定時間を超えると電源供給がオフになります。

*本機の設定の「パーキングモードタイマー」は、常時電源コード本体の時間設定以下にする必要があります。また、設定時間内は電源供給されます。



■ 12V車の電圧設定

【スイッチ4】12V車の電圧を設定します。



【スイッチ5、6】電圧監視機能によって監視する電圧を設定します。設定した電圧を下回ると電源供給がオフになります。



■ 24V車の電圧設定

【スイッチ4】24V車の電圧を設定します。



【スイッチ5、6】電圧監視機能によって監視する電圧を設定します。設定した電圧を下回ると電源供給がオフになります。



はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

パーキングモードの設定

* 常時電源コード接続時、設定できます。



1 画面中央下の【MENUボタン】をタップして、モード切替画面に切りかえる。

2 【設定モード】を選択（タップ）する。



3 画面右の【▲▼】をタップして、【パーキングモード】を選択（タップ）する。



4 パーキングモードの設定を選択（タップ）する。
設定を終了して録画モードにもどる場合は、画面右の【戻る】をタップしてモード切替画面までもどり、【録画モード】をタップします。

パーキングモード

オン 常時	常時録画を記録しつづけます。（古いファイルは消去されます。）
オン モーション	本機のカメラがモーション（動作）を検知した場合、常時録画を 1 ファイル記録します。
オン 常時+イベント	常時録画とイベント録画をおこないます。イベントが発生した場合、1 ファイルに 25 秒（前 5 秒、後 20 秒）のイベント録画を記録します。
オン モーション+イベント	本機のカメラがモーション（動作）を検知した場合、常時録画を 1 ファイル記録し、イベントが発生した場合、1 ファイルに 25 秒（前 5 秒、後 20 秒）のイベント録画を記録します。

* パーキングモードでは、常時録画画質の設定によって 1 ファイルの録画時間が変動します。

パーキングモード録画のオン/オフ切りかえ

録画の必要がない自宅ではオフ、外出先ではオンというように「パーキングモード」のアイコンのタップで簡単にパーキングモード録画のオン、オフが切りかえられます。

* 「パーキングモード」のアイコンでオフにしても、パーキングモードの録画領域は変わりません。



「パーキングモード」のアイコン



パーキングモード切りかえを音声でお知らせします。
「パーキングモード オン」「パーキングモード オフ」

パーキングモードのお知らせ設定項目

設定メニューの「パーキングモードお知らせ」を「オン」にすると、電源ON時に現在のパーキングモードの状態を音声でお知らせします。

* パーキングモードタイマー設定が0時間のときもパーキングモード オンでお知らせします。

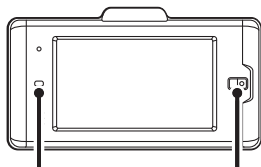
オン	起動時にパーキングモードがオンになっていることをお知らせします。
オフ	起動時にパーキングモードお知らせをおこないません。

パーキングモード録画の動作

パワー（イグニッション）スイッチをオフにし、ACCがオフになってから6秒後、パーキングモードが作動し、画面が消え、録画モードの状態を動作LEDで表示します。

* パーキングモードの動作中、V-OUT（ビデオ出力）はオフになります。

パーキングモードの動作中、クイック録画ボタンを押すと動作LEDが速い緑色点滅（0.5秒点灯と0.5秒消灯を繰り返す）し、クイック録画をおこないます。録画後、常時録画にもどります。



動作 LED ランプ クイック録画ボタン

常時録画の動作	遅い緑色点滅（2秒点灯と2秒消灯を繰り返す）
イベント録画の動作	速い緑色点滅（0.5秒点灯と0.5秒消灯を繰り返す）
モーション録画の動作	検知：遅い緑色点滅（2秒点灯と2秒消灯を繰り返す） 待機中：遅い2回緑色点滅 （2秒間に点灯と消灯を2回おこなった後2秒消灯を繰り返す）



「パーキングモード」のアイコン

パワー（イグニッション）スイッチをオンにし、本機が起動した際に「録画ファイルがあります。」と音声出力し、「パーキングモード」のアイコンが変化します。

次回起動時、アイコンは元にもどります。[➡P26]

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

各種設定の変更

設定の変更方法（例：アイコン表示）

本機の設定を変更する場合は、以下の手順でおこないます。

専用ビューアソフトで設定することも可能です。詳しくは、ダウンロードした専用ビューアソフトの説明書をご覧ください。

* 設定中は、録画はできません。

* 設定メニュー画面にて1分以上操作がない場合は、自動的に録画モードに切りかわります。



1 画面中央下の【MENUボタン】をタップして、モード切替画面に切りかえる。

* アイコン表示オフ、V-OUT時は、画面をタップするとモード切替画面に切りかえます。



2 【設定モード】を選択（タップ）する。



3 画面右の【▲▼】をタップして、変更する設定メニューを選ぶ。



4 変更したい設定項目を選択（タップ）し、設定内容を切りかえる。
設定項目が多い場合は、画面右の【▲▼】をタップし、スクロールさせます。

5 引き続き他の設定を変更する場合は、画面右の【戻る】をタップして設定モード画面までもどり、同様の手順でおこなう。

設定を終了して録画モードにもどる場合は、画面右の【戻る】をタップしてモード切替画面までもどり、【録画モード】をタップします。

設定一覧

* 1 別体カメラ接続時、設定できます。

設定メニュー	初期設定	設定項目	参照
音量調整	2	本機の音量を調整できます。数値を大きく設定すると音量が大きくなり、0は無音にします。 3/2/1/0	—
画像モード設定	高画質	録画モードの画像、画質を設定します。お好みの録画の記録時間、画質を設定できます。 高画質 : 録画画質を高画質 (FHD) に適した設定にします。 標準 : 録画画質を標準的 (HD) な設定にします。 長時間 : 録画画質を長時間録画 (D1) に適した設定にします。 カスタム : 録画画質などの設定をお好みで設定できます。	P37 P60
本体カメラ設定	夜間補正	本体カメラ、別体カメラの画像補正を設定できます。 ノーマル : HDR、ナイトクリアによる画像補正をおこないません。 HDR : HDR による画像補正をおこない、急激な明るさの変化が発生しても白トビや黒ツブレを低減します。 夜間補正による画像補正はおこないません。	—
別体カメラ設定 * 1	夜間補正	夜間補正 : 夜間・トンネルなど光量の少ない場所でも鮮明な映像を記録できます。HDR による画像補正は おこないません。 HDR+ 夜間補正 : HDR と夜間補正による画像補正をおこないます。	—
別体カメラ録画、 表示設定	—	別体カメラの画像表示を設定できます。 上下反転 : 上下を反転して表示するか設定します。 正像鏡像 : 正像で表示するか鏡像で表示するか設定します。	P37
カメラ表示	本体 + 別体カメラ	本機の画面に表示するカメラの映像、パターンを設定できます。 本体カメラ : 本体カメラを表示します。 別体カメラ : 別体カメラを表示します。 本体 + 別体カメラ : 本体カメラ、別体カメラを 2 分割で表示します。	P26
音声録音	オン	本機のマイクで音声を録音し、録画映像に記録するか設定できます。 オン : 本体のマイクで音声を録音します。 オフ : 本体のマイクで音声を録音しません。	—
3G センサー感度	6	数値を大きく設定すると 3G センサーが高感度になり、通常時の衝撃を感知しやすくなります。カスタムは、3G センサーをお好みで設定できます。 10/9/8/7/6/5/4/3/2/1/ カスタム	P37
録画モード	常時+イベント	録画モードの録画方法を設定できます。 常時 : 常時録画 (1 分単位) します。 常時+イベント : 常時+イベント録画します。	P28
画面明るさ	3	画面の明るさを設定できます。数値を大きくすると明るくなります。 4/3/2/1	—
ディマー	オン	時間で画面の明るさを自動調整するか設定できます。 [オン] にすると、4 月～10 月は 18:00～5:00、 11 月～3 月は 16:00～7:00 に画面を自動で暗くします。 オン : ディマー機能を設定します。 オフ : ディマー機能を設定しません。	—
ボイス	オン	本機の動作をボイスアシスト (音声案内) するか設定できます。 オン : ボイスアシストをおこないます。 オフ : ボイスアシストをおこないません。	—
画面表示	オン	本機の画面に表示する内容を設定できます。 オン : カメラ映像を表示します。 オン 時計 : 時計を表示します。 オン 速度 : 速度を表示します。 オフ : 画面表示しません。* エラー、災害・危機管理通報は初回のみ表示。 オールオフ : 画面、ボイスをオフにします。	P27

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

設定一覧（つづき）

*1 別体カメラ接続時、設定できます。
*2 常時電源コード接続時、設定できます。

設定メニュー	初期設定	設定項目	参照
アイコン表示	オン	本機の画面にアイコンを表示するか設定できます。 オン : アイコンを表示します。 オフ : アイコンを非表示にします。	P26
インボース記録	オン	録画した映像に各種情報を重ねて（インボース）記録するか設定できます。 オン : 映像に日時、現在地の緯度経度、走行速度をインボースします。 オフ : 映像に日時、現在地の緯度経度、走行速度をインボースしません。	—
V-OUT	オフ	本機の映像を外部モニターまたは弊社セーフティリーダーに出力するか設定できます。 オン : 録画中の映像を出力します。 オフ : 録画中の映像を出力しません。	P50
位置情報取得	オン	本機の GPS 機能で位置情報を取得するか設定できます。 オン : 位置情報を取得し記録、表示します。 オフ : 位置情報を取得しません。	P49
GPS おしらせ機能	小学校、中学校以外オン	GPS おしらせ機能を設定できます。 取締機 : オークスなど速度取締機の設置ポイントをおしらせします。 高速道逆走注意エリア : 高速道路上の逆走が発生しやすいエリアをおしらせします。 ゾーン 30 : 制限速度30キロ区域（ゾーン 30）をおしらせします。 事故多発エリア / 路線 : 事故発生率の高いエリア / 路線です。 小学校 / 中学校 : 小学校 / 中学校付近をおしらせします。	P45
安全運転支援機能（本体カメラ）	—	データ情報 : GPS データの版数を確認します。	P49
安全運転支援機能（別体カメラ）* 1	—	安全運転支援機能（本体カメラ）の設定画面に移動します。	P40
	—	安全運転支援機能（別体カメラ）の設定画面に移動します。	P43
パーキングモード * 2	オン 常時 + イベント	パーキングモードを設定できます。 オン 常時 オン モーション オン 常時+イベント オン モーション+イベント オフ	P32
パーキングモード感度 * 2	6	数値を大きく設定すると 3G センサーが高感度になり、パーキングモード時の衝撃を感じやすくなります。 10/9/8/7/6/5/4/3/2/1	—
パーキングモードタイマー * 2	12 時間	パーキングモードのタイマーがオフになる時間を設定します。 0 時間 / 1 時間 / 2 時間 / 4 時間 / 6 時間 / 8 時間 / 10 時間 / 12 時間 * 常時電源本体（ディップスイッチ）で設定した時間以下にしてください。	P31
パーキングモードおしらせ * 2	オフ	起動時に現在のパーキングモードのオン / オフをおしらせするか設定できます。 オン : パーキングモードがオンになっていることをおしらせします。 オフ : パーキングモードおしらせをおこないません。	P33
取扱説明書 QR コード表示	—	取扱説明書の QR コードを表示します。	P53
フォーマット	—	SD カードのフォーマットをおこないます。	P54
キャリブレーション設定	—	タッチパネルを補正します。	P56

画像モード設定「カスタム」時、設定内容一覧

カスタム	初期設定	設定項目	参照
画像	D1	FHD : 1920×1080 ピクセル HD : 1280×720 ピクセル D1 : 720×480 ピクセル	—
画質	低	高 標準 低	—
明るさ	中	明 中 暗	—
コントラスト	中	高 中 低	—

別体カメラ録画、表示設定内容一覧

カスタム	初期設定	設定項目	参照
上下反転	マウントベース上	マウントベース上 マウントベース下	—
正像鏡像	正像	正像 鏡像	—

3Gセンサー感度「カスタム」時、設定内容一覧

カスタム	初期設定	設定項目	参照
前後			
左右	6	数値を大きく設定すると 3G センサーが高感度になり、通常時の衝撃を感知しやすくなります。オフは衝撃を検知しません。	—
上下		10/9/8/7/6/5/4/3/2/1/ オフ	

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

画像モード設定

画像モード設定では、録画画像の画質や画像サイズなど細かな設定を各モードにあわせた最適な内容に設定してあります。録画したい画像、録画時間などお好みにあわせて変更することができます。

* 設定中は、録画できません。

画像モードを変更するとmicroSDカードメンテナンスフリー機能により、ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生し、録画ファイルなどがすべて消去されます。
あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで録画ファイルなどのバックアップをおこなうことをおすすめします。



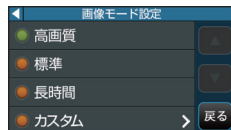
1 画面中央下の【MENUボタン】をタップして、モード切替画面に切りかえる。

2 【設定モード】を選択（タップ）する。



3 画面右の【▲▼】をタップして、【画像モード設定】を選択（タップ）する。

「画像モード設定」画面に切りかわります。

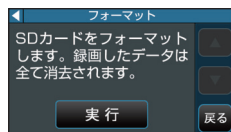


4 設定したい画像モードを選択（タップ）する。

5 【戻る】をタップして設定を確認する。

ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生します。

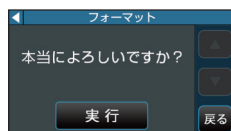
* カスタムは画像または画質を変更するとフォーマットが発生します。



6 【実行】をタップする。

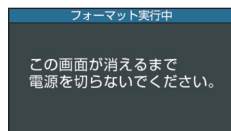
キャンセルする場合は、画面右の【戻る】をタップします。

* 録画データなどが消去されます。事前にバックアップすることをおすすめします。



7 【実行】をタップする。

キャンセルする場合は、画面右の【戻る】をタップします。



本機の画面に「フォーマット実行中」と表示されます。
フォーマット完了後、自動的に再起動をおこない、録画モードが開始されます。

その他の機能

再生モード

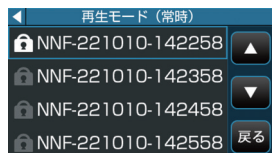
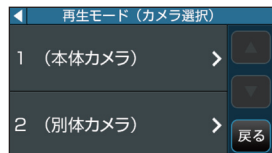
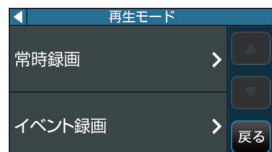
録画した映像を本機の画面で再生することができます。

* 再生モード中は、録画できません。

* 外部モニターなどで再生することはできません。



「映像再生」のアイコン



1 画面左下の「映像再生」のアイコンをタップする。

画面の中央下のMENUボタンをタップして、モード切替画面から再生モードにすることもできます。



2 【常時録画】または【イベント録画】を選択（タップ）する。
「再生モード（カメラ選択）」画面に切りかわります。

3 【1（本体カメラ）】または【2（別体カメラ）】を選択（タップ）する。
「再生モード（常時）」画面に切りかわります。

4 ファイルを選択（タップ）する。
再生ファイルが多い場合は、画面右の【▲▼】をタップし、スクロールさせます。

* 再生ファイル名について 【▶P29】

* ファイルは、録画された時間の順に表示されます。

5 録画映像が再生される。
画面タップ：一つ前の画面にもどる
画面をロングタップ：本体カメラと別体カメラの映像切りかえ

録画ファイルロック機能



保護したい録画ファイルの名前をロングタップすると、ロック（保護）、解除を切りかえできます。（本体カメラ、別体カメラは連動します）



ロックあり /



ロックなし

* SDカード内にロックしたファイルがある場合、フォーマット時に確認画面が表示されます。【▶P54】

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

サブタイトル

安全運転支援機能（本体カメラ）

本体カメラで前方の安全運転支援機能を動作します。

- * 「キャリブレーション（本体カメラ）」にて、設置する車にあわせて調整してください。【→P41】
- * 夜間や悪天候時、また昼間でも路面や走行状況によって機能が動作しない、またはひんぱんに警告する場合があります。
- * 取り付けはできるだけ車両の左右の中央部に取り付けてください。中央部からはずれますと判定誤差が大きくなり、警告しない、またはひんぱんに警告する場合があります。
- * 安全運転支援機能の動作は目安です。実際の道路状況にしたがって走行してください。
- * 安全運転支援機能による事故に関し弊社は一切の責任を負いかねます。
- * 横切の車、ヘッドランプなどのON/OFFにより警告する場合があります。

前車発車警告

停車時、前車が出発したことを警告します。



車間距離保持警告

設定した速度以上で走行時、前車との適正距離を保持するよう警告します。



車線逸脱警告

設定した速度以上で走行時、車線を逸脱すると警告します。



安全運転支援機能を使用する前に、キャリブレーションの設定をおこなう必要があります。【→P41】

安全運転支援機能（本体カメラ）の設定内容一覧

安全運転支援機能メニュー	設定値	設定項目
前車発車警告	オフ	オン / オフ
車間距離保持警告	オフ	40 キロ / 50 キロ / 60 キロ / 70 キロ / 80 キロ / 90 キロ / 100 キロ / オフ 車間距離保持警告が動作する走行速度を設定します。
車線逸脱警告	オフ	40 キロ / 50 キロ / 60 キロ / 70 キロ / 80 キロ / 90 キロ / 100 キロ / オフ 車線逸脱警告が動作する走行速度を設定します。
キャリブレーション	—	画面で調整します。【→ P41】
警告音	オン	オン / オフ

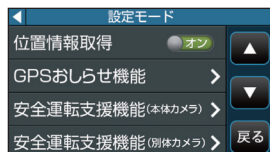
キャリブレーション（本体カメラ）

安全運転支援機能を使用するために、設置する車にあわせて本体カメラの調整をおこないます。

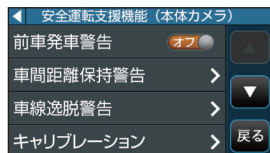


1 画面中央下の【MENUボタン】をタップして、モード切替画面に切りかえる。

2 【設定モード】を選択（タップ）する。



3 画面右の【▲▼】をタップして、【安全運転支援機能（本体カメラ）】を選択（タップ）する。



4 画面右の【▲▼】をタップして、【キャリブレーション】を選択（タップ）する。

「キャリブレーション」画面に切りかわります。

車種を設定する

1 「キャリブレーション」画面で【車種】を選択（タップ）する。

2 一覧から設置する車に近い車種を選択（タップ）する。

- ・乗用車
- ・SUV
- ・大型車

3 【戻る】をタップする。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

地平線（前方）を調整する

- 1 「キャリブレーション」画面で【地平線】を選択（タップ）する。
- 2 画面を見て赤線が道路の先端にくるように画面右の【▲▼】をタップして調整する。



- 3 【戻る】をタップする。

ボンネットを調整する

- 1 「キャリブレーション」画面で【ボンネット】を選択（タップ）する。
- 2 画面を見て黄線の高さがボンネットの高さと同じになるように画面右の【▲▼】をタップして調整する。



* トラックなどボンネットが見えない車両の場合、線を一番下に設定してください。

- 3 【戻る】をタップする。

安全運転支援機能（別体カメラ）

別体カメラで後方の安全運転支援機能を動作して煽り運転を防止します。

- * 「キャリブレーション（別体カメラ）」にて、設置する車にあわせて調整してください。【➡P44】
- * 夜間や悪天候時、また昼間でも路面や走行状況によって機能が動作しない、またはひんぱんに警告する場合があります。
- * リヤガラスにスモークフィルムを貼っている場合、画像認識しにくいため機能が動作しないことがあります。
- * 取り付けはできるだけ車両の左右の中央部に取り付けてください。中央部からはずれますと判定誤差が大きくなり、警告しない、またはひんぱんに警告する場合があります。
- * 安全運転支援機能による事故に関し弊社は一切の責任を負いかねます。
- * 走行状況により後方からの接近の判断ができない場合があります。特に夜間、トンネル内などの暗い場所では判定率が下がるため誤判断（誤認）する場合があります。

後車接近警告

後車が接近すると、警告音やイベント録画をおこない、ドライバーに注意を促します。

- * 「安全運転支援機能（別体カメラ）」の「警告音」を「オン+イベント録画」に設定すると、後方車が接近（煽り運転）時、イベント録画を開始します。



安全運転支援機能（別体カメラ）の設定項目

安全運転支援機能メニュー	設定値	設定項目
後車接近警告	オフ	40 キロ / 50 キロ / 60 キロ / 70 キロ / 80 キロ / 90 キロ / 100 キロ / オフ 後車接近警告が動作する走行速度を設定します。
キャリブレーション	—	画面で調整します。【➡ P44】
判定距離	10m	5m/10m
警告音	オン	オン / オフ / オン+イベント録画

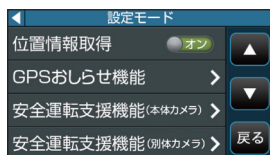
キャリブレーション（別体カメラ）

安全運転支援機能を使用するために、設置する車にあわせて別体カメラの調整をおこないます。



1 画面中央下の【MENUボタン】をタップして、モード切替画面に切りかえる。

2 【設定モード】を選択（タップ）する。



3 画面右の【▲▼】をタップして、【安全運転支援機能（別体カメラ）】を選択（タップ）する。



4 【キャリブレーション】を選択（タップ）する。



5 画面を見て緑線が道路の先端にくるように画面右の【▲▼】をタップして、地平線を調整する。（上下の赤線2本は動きません。）

6 【戻る】をタップする。

GPSおしらせ機能

内蔵のGPSデータにより安全運転に役立つGPS警告をおこないます。MyCellstarで最新のGPSデータに更新できます。

- * 設定メニューの「GPSおしらせ機能（個別設定）」を「オン」にしてください。
- * GPSの測位状態によっては、GPSおしらせ機能が動作しない場合があります。



GPS おしらせ画像と音声で警告します。

GPS おしらせ画像

おしらせの内容



取締機

- オービスなど速度取締機の設置ポイントを500m 手前でお知らせします。
- * 初期設定はオン



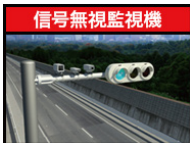
トンネル内速度取締機

- トンネル内の速度取締機の設置ポイントを500m 手前でお知らせします。
- * 取締機の設定となります。個別の設定はできません。



トンネル出口速度取締機

- トンネル出口の速度取締機の設置ポイントを500m 手前でお知らせします。
- * 取締機の設定となります。個別の設定はできません。



信号無視監視機

- 信号無視監視機の設置ポイントを500m 手前でお知らせします。
- * 取締機の設定となります。個別の設定はできません。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

GPS おしらせ画像

おしらせの内容



高速道逆走注意エリア

高速道路上の逆走が発生しやすいエリアをお知らせします。

- * 初期設定はオン
- * 同種のポイントが連続している場合、おしらせをスキップします。
- * ポイントによりおしらせする場所が変わります。



ゾーン30

生活道路における歩行者などの安全な通行を確保することを目的として、制限速度30キロに設定された区域（ゾーン 30）をお知らせします。

- * 走行速度80km/h以下のときに警告します。
- * 初期設定はオン
- * 同種のポイントが連続している場合、おしらせをスキップします。
- * ポイントによりおしらせする場所が変わります。



事故多発エリア

事故発生率の高いエリアを 500m 手前でお知らせします。

- * 走行速度80km/h以下のときに一般道に対し、80km/h以上のときに高速道に対し警告します。
- * 初期設定はオン
- * 同種のポイントが連続している場合、おしらせをスキップします。



事故多発路線

事故発生率の高い路線を 500m 手前でお知らせします。

- * 走行速度80km/h以下のときに一般道に対し、80km/h以上のときに高速道に対し警告します。
- * 初期設定はオン
- * 同種のポイントが連続している場合、おしらせをスキップします。



小学校

小学校付近でお知らせします。

- * 走行速度80km/h以下のときに警告します。
- * 初期設定はオフ
- * 同種のポイントが連続している場合、おしらせをスキップします。



中学校

中学校付近でお知らせします。

- * 走行速度80km/h以下のときに警告します。
- * 初期設定はオフ
- * 同種のポイントが連続している場合、おしらせをスキップします。

MyCellstarについて

「MyCellstar」は、GPSデータのダウンロードをおこない、最新のGPSデータに更新ができます。
詳しくは「MyCellstar」のサイトをご覧ください。

<http://www.mycellstar.jp>

■ 用意するもの

- ・付属のmicroSDカード
- * GPSデータ更新中にmicroSDカード内の録画データなどが消去する恐れがあります。事前にパソコンなどへ録画データをバックアップしてください。

■ パソコンの推奨環境

- ・OS : Windows (8/10以降)
Macintosh (MacOS X 10.5以上)
- ・CPU : Intel Core2 Duo相当性能
- ・メモリ : 1GB以上
- ・グラフィックメモリ : 256MB以上

パソコンでGPSデータをダウンロード

1 ブラウザでMyCellstar (<http://www.mycellstar.jp>) を開く。



クリック

2 リストからCS-33FHを選択し、保存をクリックする。



CS-33FHを選択

クリック

3 GPSデータにチェックを付け、【次へ】ボタンをクリックする。

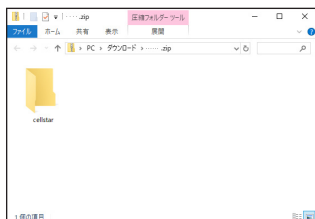


チェックを付ける
クリック

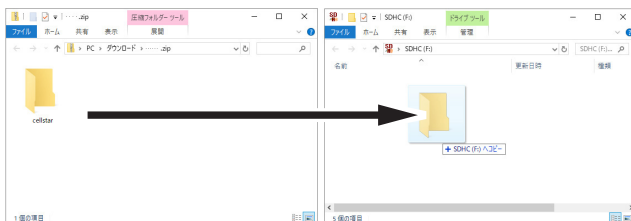
4 【ダウンロード】 ボタンをクリックする。



5 ダウンロードされたGPSデータ（ZIPデータ）を開く。



6 GPSデータ内の「cellstar」フォルダごとと付属のmicroSDカードにコピーする。



GPSデータ内

microSDカードのルートディレクトリ（一番上の階層）

最新のGPSデータが入ったmicroSDカードができあがります。

スマートフォンでGPSデータをダウンロード

■ スマートフォンの推奨環境

- OS : Android 5.0以降
- * iOS、Android 4.4には対応していません。
- * Android 5.0以降、SDカードの書き込み権限の設定が必要です。
- * Android 12は、スマートフォンの規格に合った市販のSDカードリーダーを使用してデータを転送してください。
- * スマートフォンは、メモリー状況、使用環境などさまざまな要因によりアプリが正常に動作しない場合があります。

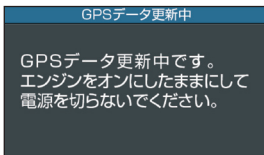
1 Playストアから「MyCellstar+Sync」をダウンロードしてインストールする。

- * スマートフォンアプリの使い方、機能の説明はアプリ内のヘルプを参照してください。
- * スマートフォンで更新する場合、本機でフォーマットした市販のmicroSDカードを使用してください。

GPSデータ更新

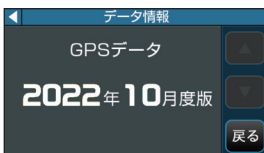
「MyCellstar」からダウンロードした最新のGPSデータが入った付属のmicroSDカードを用意します。
【➡P47】

- 1 本体からDCコードをはずし、電源がOFFになっていることを確認する。
- 2 最新のGPSデータが入った付属のmicroSDカードをmicroSDカードスロットに挿入する。【➡P22】
- 3 本体にDCコードを接続し、電源をONにする。
自動的にGPSデータが更新され、本機が再起動します。



GPSデータの版数確認

- 1 画面中央下の【MENUボタン】をタップして、モード切替画面に切りかえる。
- 2 【設定モード】を選択（タップ）する。
- 3 画面右の【▲▼】をタップして、【GPSおしらせ機能】を選択（タップ）する。
- 4 画面右の【▲▼】をタップして、【データ情報】を選択（タップ）する。



内蔵のGPSデータの版数が表示されます。

GPSの測位について

GPSを利用した機能を使用するために、GPSの測位確定が必要となります。本機の電源が入ると、自動的にGPS測位がはじまります。GPSを測位すると測位アナウンスをおこない、GPSアイコンが表示されます。
【➡P26】

✓ アドバイス

お買い求めいただいて、初めてお使いになる場合

- GPS測位が確定するまでに時間がかかる場合があります（15分程度）これは製品不良や故障などではありません。GPS測位に20分以上かかる場合は、電源を入れなおしてください。
- トンネル内、高架下、ビルの谷間、森林の中や高圧電線、高出力無線の近くなどではGPSを測位しにくくなる場合があります。
- GPS機能を使用するには、GPS測位中に限られます。

* GPSの測位状態によっては、GPSおしらせ機能が動作しない場合があります。

超速GPSについて

自転車位置を素早く約10秒でGPSを測位するので、ドライブをスムーズにスタートします。

✓ アドバイス

- GPS衛星を受信しにくい条件の場合、時間がかかる場合があります。
- 前回のGPS受信から72時間を経過すると超速GPSは機能しません。その他、様々な条件により機能しない場合があります。
- 最後に電源をOFFにしてから直線距離で300km以上離れた地点で電源をONにした場合、最後に電源をOFFにして次に電源をONしたときにGPS衛星の状態が異なる場合は、動作に時間がかかる場合があります。

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフターサービス

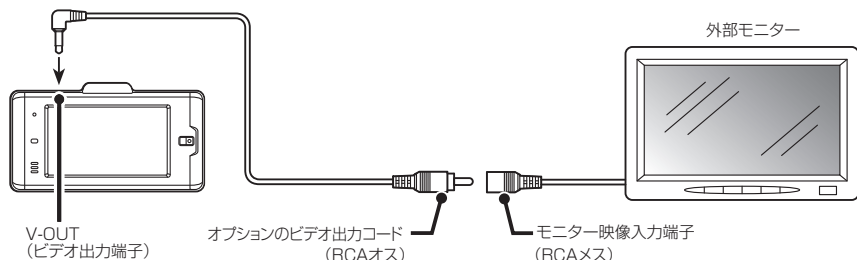
外部モニター表示

オプションのビデオ出力コードで本体のV-OUT（ビデオ出力端子）と外部モニターを接続すると本機の映像を外部のモニターに表示できます。（映像のみ、音声は出力されません）

⚠ 注意

・本機で録画した映像は、外部モニターなどで再生することはできません。本機の画面にて再生をおこなってください。

■ 外部モニターとの接続



1 画面中央下の【MENUボタン】をタップして、モード切替画面に切りかえる。

2 【設定モード】を選択（タップ）する。



3 画面右の【▲▼】をタップして、【V-OUT】を選ぶ。



4 V-OUTの設定内容をタップして、【オン】にする。

5 【戻る】をタップして、モード切替画面までもどる。



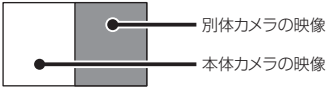
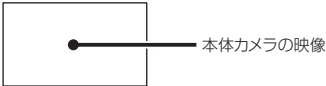
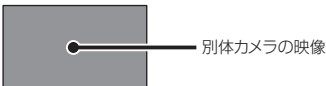
6 【録画モード】を選択（タップ）する。

確定後、本機の画面がオフになり、外部モニターに映像が表示されます。

* 再度、本機の画面をタップするとモード切替画面にもどります。

外部モニターの表示内容

本体の画面をロングタップするとカメラ映像が切りかわります。

カメラ表示	外部モニターの表示内容
本体カメラ+別体カメラ	
本体カメラ	
別体カメラ	

- * 必ずオプションのビデオ出力コードをご使用ください。他のコードを使用すると映像が正しく表示されない、または誤動作を起こす場合があります。
- * モニターの種類によっては端子の形状が異なる場合があります。
- * 電源ON時、一時画像が乱れることがあります、異常動作ではありません。
- * 本体の画面をタップすると、モード切替画面になります。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

セルスター製セーフティレーダーに接続

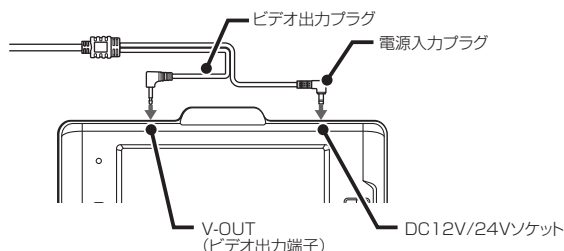
オプションのセーフティレーダー接続コード（3極DCプラグ）で本機とセルスター製セーフティレーダー（カメラ警告対応）を接続すると、本機の映像をセーフティレーダーに表示することができます。また、本機の電源もセーフティレーダーから供給されます。

* 本機に適合したオプション品の型番は、弊社ホームページの接続対応表をご覧ください。（<https://www.cellstar.co.jp>）

⚠ 注意

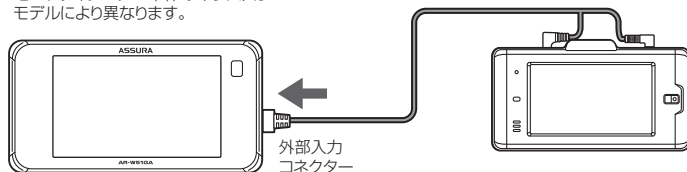
・ 本機で録画した映像は、セーフティレーダーの画面で再生することはできません。必ず本機の画面にて再生をおこなってください。

1 セーフティレーダー接続コードのビデオ出力プラグと電源入力プラグを本機に差し込む。



2 セーフティレーダー接続コードの外部入力コネクタをセーフティレーダーの外部入力ソケットに差し込む。

* セーフティレーダー本体のイラストはモデルにより異なります。



V-OUT（ビデオ出力）の設定を変更してください。【➡P36】

3 セーフティレーダーの取扱説明書を参照し外部入力の設定を変更する。

オン（待受、警告）：カメラ警告（ライブビュー）として使用する設定

オン（モニター）：ドライブレコーダーのモニターとして使用する設定

撮影モードについて

手動で静止画を撮影するモードです。撮影した画像は、microSDカードの[CAPTURE]フォルダに保存されます。

- * 静止画がmicroSDカード総容量の2%に保存されます。最大容量を超えた場合、古いデータから上書きされます。
- * 撮影された静止画（JPGファイル）は、本機や専用ビューアソフトで表示できません。直接パソコンからmicroSDカードを参照してください。
- * 画面表示が「オン 時計」、「オン 速度」、「オフ」、「オールオフ」の場合、画面をタップするとカメラ映像を表示して操作が可能になります。



1 画面中央下の【MENUボタン】をタップして、モード切替画面に切りかえる。

2 【撮影モード】を選択（タップ）する



カメラアイコン

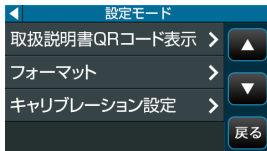
カメラアイコンをタップ：撮影

カメラアイコン以外をタップ：撮影機能終了

- * JPEG形式の画像で保存されます。

取扱説明書QRコード表示

取扱説明書（本書）のPDFをダウンロードするQRコードを表示できます。表示には、PDFを表示するビューアが必要になります。



1 画面中央下の【MENUボタン】をタップして、モード切替画面に切りかえる。

2 【設定モード】を選択（タップ）する。

3 画面右の【▲▼】をタップして、【取扱説明書QRコード表示】を選択（タップ）する。



本機の画面にQRコードが表示されます。QRコードをスマートフォンで読みとり、取扱説明書のPDFを表示させることができます。

QRコードの表示を終了して録画モードにもどる場合は、画面右の【戻る】をタップしてモード切替画面までもどり、【録画モード】をタップします。

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

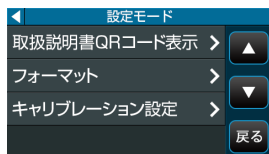
サブタイ

フォーマット

microSDカードを初期化し、microSDメンテナンスフリー機能により、セルスター独自のファイルシステムが適応されます。

* microSDカード内の録画ファイルなどがすべて消去されます。あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで録画ファイルのバックアップをおこなうことをおすすめします。

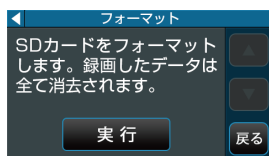
* 本機でフォーマットしても本体の設定値は工場出荷時にもどりません。



1 画面中央下の【MENUボタン】をタップして、モード切替画面に切りかえる。

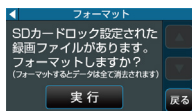
2 【設定モード】を選択（タップ）する。

3 画面右の【▲▼】をタップして、【フォーマット】を選択（タップ）する。

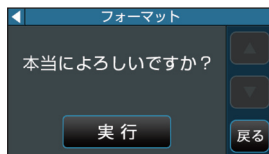


4 【実行】をタップする。

キャンセルする場合は、画面右の【戻る】をタップします。

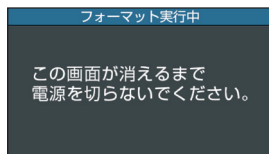


* ロックした録画ファイルがある場合は、本機の画面に左のメッセージが表示されます。必要に応じてロックを解除してください。【P39】



5 【実行】をタップする。

キャンセルする場合は、画面右の【戻る】をタップします。

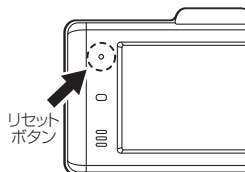


本機の画面に「フォーマット実行中」と表示されます。フォーマット完了後、自動的に再起動をおこない、録画モードが開始されます。

システムリセットと強制初期化（強制フォーマット）

本機が誤動作したり、止まってしまった場合、システムリセットまたは強制初期化（強制フォーマット）をおこなってください。

システムリセット

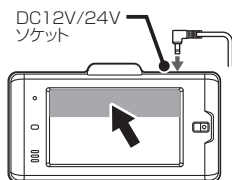


- 1 ピンなどを使用してリセットボタンを押す。
本機がリセットされます。

強制初期化（強制フォーマット）

強制初期化をおこなうと、本体の設定値が工場出荷時にもどります。必要に応じて再設定をおこなってください。
【→P35～P37】

* microSDカード内の録画ファイルなどがすべて消去されます。あらかじめ、パソコンなどにバックアップすることをおすすめします。



- 1 DCコードのプラグを抜き、電源をOFFにする。
- 2 画面の上部（本体反転時も上部）をタップしながらDCコードのプラグを接続し、電源を入れ、しばらくするとフォーマット動作に切りかわる。
- 3 フォーマットが実行される。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

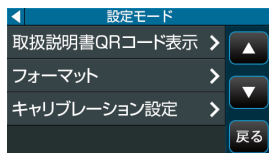
困ったときは

その他

アフター
サービス

タッチパネルのキャリブレーション設定

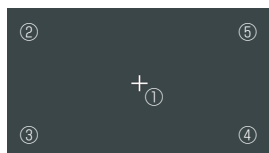
タッチパネルの反応にズレが発生した場合、キャリブレーション設定にてタッチパネルを補正してください。



1 画面中央下の【MENUボタン】をタップして、モード切替画面に切りかえる。

2 【設定モード】を選択（タップ）する。

3 画面右の【▲▼】をタップして、【キャリブレーション設定】を選択（タップ）する。



4 ①～⑤まで順番で十字（+）表示の真ん中をタップする。
選択が完了すると、キャリブレーション設定を終了し、設定モードへ切りかわります。

タッチパネルの補正に失敗した場合

タッチ補正に失敗しました。
もう一度、正確に画面の「+」
表示をタッチしてください。

本機の画面に左のエラーが表示されます。
再度、キャリブレーション設定をおこなってください。

ドライブレコーダー専用ビューアソフトについて

本機で録画した映像の確認や本機の設定をパソコンでおこなうことができます。

専用ビューアソフトと専用ビューア説明書は、弊社ホームページの製品ページからダウンロードします。

https://www.cellstar.co.jp/dlfm/download_viewer.php

専用ビューアソフトの動作環境

CPU： Intel® Core™ i5 / i7 (Haswell 第4世代以上、Quad-Core DesktopCPU 2.5GHz) /
AMD Ryzen™ 以上 (Quad-Core DesktopCPU 2.5GHz以上)
* モバイル、低電力CPUは除外

GPU： Intel® HD Graphics 4500以上 /
AMD Radeon™ 第9世代 (HD6350) 以上 /
NVIDIA® GeForce™ 400 series (GT430) 以上

メモリ： 8GB 以上 / 16GB推奨

HDD： 4GB 以上

OS： Windows 8 / 10

その他： DirectX 9.0以上 / 11推奨

専用ビューアソフトのインストール方法

- 1 viewer.zipをダウンロードして、圧縮解凍ソフトでファイルを解凍する。
- 2 viewerフォルダを開く。
- 3 フォルダ内の専用ビューア説明書を参照し、専用ビューアソフトをインストールする。
- 4 setup.exeを起動する。
インストールが開始されます。

専用ビューアソフトの使い方は、「専用ビューア説明書.pdf」をご覧ください。

はじめに

取り付けと
準備基本操
作各種設
定

困ったときは

その他

アフター
サービス

故障かな？と思ったら

修理をご依頼される前に、もう一度次のことをご確認ください。
また、弊社ホームページのよくあるご質問（FAQ）を参照してください。
<https://faq.cellstar.co.jp/>



症状	考えられる原因	参照
電源が入らない	- DCコードは、アクセサリソケットに接続されていますか。 - 本機のDCソケットにDCコードは接続されていますか。 - DCコードのヒューズが切れていませんか。 - 本機は専用のDCコード（3極DCプラグ）を使用してください。	P21
SD カードを認識しない	- アクセサリソケットにゴミや汚れが付着していませんか。付着している場合は、ゴミや汚れなどをきれいに拭きとってください。 - microSDカードは正しく挿入されていますか。 * microSD カードを挿入していないと録画が開始されません。	—
起動時間が長い	microSDカードの容量によっては起動時間が長くなることがあります。	P6
録画が開始されない	- microSDカードは正しく挿入されていますか。 * microSD カードに異常がある場合もエラーとなり録画が開始されません。その場合は、microSD カードを取り換えてご使用ください。その際は指定の microSD カードをご使用ください。 - microSDカード内の録画ファイルが破損した可能性があります。 * microSD カードをフォーマットしてください。	P6 P22、P23
急ブレーキや急加速のときでも、データが保護されない。 またはすぐに反応してしまう	「3Gセンサー感度」を調整してください。 * 使用状況にあわせて、この設定を調整することをおすすめします。	P54
ひんばんにイベント録画される または録画されない	「3Gセンサー感度」を調整してください。 * 使用状況にあわせて、この設定を調整することをおすすめします。	P35
画面を表示しない	- 画面がオフになっていませんか。 - V-OUT（ビデオ出力）がオンになっていませんか。	P35、P36
再起動する	本機に異常があった場合、連続動作するために自動的に再起動し復帰しますが、異常動作ではありません。	—
録画したデータと実際の走行状況が違う	日時、車両の走行速度、位置情報は、GPSの測位から算出するため、実際の数値と異なる場合があります。	—
パーキングモードを設定できない	本機が常時電源コードを認識していません。パワー（イグニッション）スイッチを入れなおしてください。	—
設定中に、フォーマット動作になった	画像モード設定の変更をされていませんか。変更した場合、microSD カードメンテナンスフリー機能を使用するため、フォーマットが発生し、記録ファイルが消去されます。バックアップされていない場合、本機からDCコードをはずして、電源がOFFになっていることを確認し、microSDカードを抜きパソコンなどにファイルのコピーでバックアップをおこなうことをおすすめします。	P23
設定が初期値にもどる	- 本機以外でフォーマットをおこなっていませんか。 - 新しいmicroSDカードに交換していませんか。 * microSD カード内に本機の設定ファイルが無いため設定が初期値にもどります。再設定をおこなってください。	P22

製品の仕様

本体カメラ	撮像素子	200 万画素 カラー CMOS センサー	
		フレームレート	30fps
		視野角	水平 116°、垂直 59°、対角 145°
		F 値	2
		最低被写体照度	3LUX
		録画画素数	200 万画素 (FullHD) / 100 万画像 (HD) / 35 万画素 (D1)
	録画画質	FullHD	高画質 (10Mbps) / 標準 (8Mbps) / 低画質 (6Mbps)
		HD	高画質 (6Mbps) / 標準 (4.5Mbps) / 低画質 (3Mbps)
		D1	高画質 (3Mbps) / 標準 (2Mbps) / 低画質 (1Mbps)
	録画画角	FullHD	水平 116°、垂直 59°、対角 145°
HD		水平 116°、垂直 59°、対角 145°	
D1		水平 98°、垂直 59°、対角 121°	
別体カメラ	撮像素子	200 万画素 カラー CMOS センサー	
		フレームレート	30fps
		視野角	水平 124°、垂直 62°、対角 160°
		F 値	2
		最低被写体照度	3LUX
		録画画素数	200 万画素 (FullHD) / 100 万画像 (HD) / 35 万画素 (D1)
	録画画質	FullHD	高画質 (10Mbps) / 標準 (8Mbps) / 低画質 (6Mbps)
		HD	高画質 (6Mbps) / 標準 (4.5Mbps) / 低画質 (3Mbps)
		D1	高画質 (3Mbps) / 標準 (2Mbps) / 低画質 (1Mbps)
	録画画角	FullHD	水平 119°、垂直 62°、対角 160°
HD		水平 119°、垂直 62°、対角 160°	
D1		水平 94°、垂直 62°、対角 116°	
録画圧縮		録画 AVI(H.264)、静止画 JPEG	
録画トリガ	通常時	常時録画 / 常時録画+イベント録画 / クイック録画	
	パーキングモード時	常時録画 / モーション録画 / 常時録画 + イベント録画 / モーション録画 + イベント録画	
GPS		有り	
HDR		有り	
3G センサー		有り (衝撃感度 10 段階)	
対応外部記憶媒体		microSD カード 8GB ~ 32GB (クラス 10/SDHC 規格準拠)、64GB ~ 128GB (クラス 10/SDXC 規格準拠)、その他、スピードクラスとして下記以上を推奨 SD スピード Class : Class10 UHS スピードクラス : U1 以上 Video スピードクラス : V30 以上 * 弊社オプション microSD カード推奨	
記録データ		日時、加速度、走行速度、位置情報、映像ファイル	
音声録音		有り (オン、オフ設定可)	
外部映像出力		有り (本体ディスプレイか外部かどちらか一方のみ) * 再生時なし	
インターネット地図連動		有り	
電源電圧		DC12V/24V	
動作温度範囲		-10℃ ~ +60℃	
本体サイズ		87 (W) × 25 (D) × 45 (H) mm (突起部含まず) * マウントベース取り付け時 76 (H) mm	
本体重量		91g	
別体カメラサイズ		34.5 (W) × 16 (D) × 34.5 (H) mm (突起部含まず) * マウントベース取り付け時 59 (H) mm	
別体カメラ重量		19g	
VCCI		クラス B	
保証期間		3 年	

* 「ドライブレコーダー協議会ガイドライン」に基づく表記。

* 録画の条件により、録画のフレームレートやビットレートが変わる場合があります。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

■常時録画 撮影可能時間の目安

常時録画時間 [min] / microSD カードの容量		録画品質		
		高画質	標準	低画質
8GB	FullHD	約 24 分	約 30 分	約 36 分
	HD	約 41 分	約 60 分	約 90 分
	D1	約 100 分	約 136 分	約 211 分
16GB	FullHD	約 49 分	約 60 分	約 72 分
	HD	約 83 分	約 120 分	約 181 分
	D1	約 201 分	約 272 分	約 422 分
32GB	FullHD	約 98 分	約 120 分	約 144 分
	HD	約 166 分	約 240 分	約 362 分
	D1	約 402 分	約 544 分	約 837 分
64GB	FullHD	約 196 分	約 240 分	約 290 分
	HD	約 332 分	約 480 分	約 732 分
	D1	約 813 分	約 1098 分	約 1688 分
128GB	FullHD	約 392 分	約 480 分	約 576 分
	HD	約 664 分	約 960 分	約 1446 分
	D1	約 1608 分	約 2169 分	約 3338 分

■イベント録画 撮影可能時間の目安

イベント録画時間 [min] / microSD カードの容量		録画品質		
		高画質	標準	低画質
8GB	FullHD	約 7 分	約 8 分	約 10 分
	HD	約 11 分	約 16 分	約 24 分
	D1	約 24 分	約 31 分	約 40 分
16GB	FullHD	約 13 分	約 16 分	約 19 分
	HD	約 22 分	約 33 分	約 48 分
	D1	約 48 分	約 63 分	約 79 分
32GB	FullHD	約 27 分	約 33 分	約 39 分
	HD	約 44 分	約 66 分	約 97 分
	D1	約 97 分	約 126 分	約 157 分
64GB	FullHD	約 53 分	約 67 分	約 79 分
	HD	約 88 分	約 132 分	約 193 分
	D1	約 193 分	約 254 分	約 318 分
128GB	FullHD	約 107 分	約 130 分	約 157 分
	HD	約 177 分	約 263 分	約 387 分
	D1	約 387 分	約 503 分	約 628 分

■パーキングモードのmicroSDカード別最大録画時間

パーキングモード / microSD カードの容量	最大録画時間
8GB	約 216 分
16GB	約 433 分
32GB	約 866 分
64GB	約 1741 分
128GB	約 3463 分

* 撮影の状況、被写体などにより記録されるファイルサイズは一定でないため、記録可能時間に差が生じる場合があります。
上記は、あくまでも目安となります。

microSDカードのデータについて

- イベント録画フォルダ（EVENT）
イベントが発生した動画または、クイック録画機能で録画した動画を保存します。
（microSDカード全体容量の20%を使用）
1：本体カメラ映像
2：別体カメラ映像
- 常時録画フォルダ（INFINITE）
常時録画された1分間の動画*または、パーキングモードのモーション録画で録画された動画を保存します。
（microSDカード全体容量の73%を使用）
1：本体カメラ映像
2：別体カメラ映像
- * パーキングモード時は、画像モード設定により録画時間が変動します。
- 撮影フォルダ（CAPTURE）
キャプチャーした画像を保存します。（microSDカード全体容量の2%を使用）
1：本体カメラ映像
2：別体カメラ映像

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

アフターサービスについて

修理に関して

■ 修理に必要なもの

- ・取扱説明書（保証書欄、修理受付票記入）
- ・修理する製品

■ 保証書と修理受付票のご記入に関して

保証期間中

本書裏表紙の保証書と修理受付票に必要事項をご記入のうえ、製品に添付して修理受付窓口までお送りください。保証書の規定にしたがって無料で修理および調整させていただきます。（保証期間に関わらず原則的に交換対応はおこなっておりません）

- * ご注意：保証期間中であっても有償修理となる場合がございますので保証規定をよくお読みください。
保証書の所定事項（製品名、お買い上げ日、販売店名など）に記入がない場合は、有償修理となります。
保証期間中であっても、部品入手不可能により修理ができなくなる場合があります。

保証期間が過ぎているとき

修理受付票に必要事項をご記入のうえ、製品に添付して修理受付窓口までお送りください。

■ 修理受付票に関して

本書の修理受付票、または以下のアドレスからダウンロードしてください。

（修理受付票PDF ダウンロード：48KB）

https://www.cellstar.co.jp/products/customer/repair_card.pdf

■ 修理をご依頼される前に

1 故障かな？と思ったらを参考に故障かどうかをご確認ください。【▶P58】

2 弊社ホームページ「お客様サポート」ー「よくあるご質問（FAQ）」をご確認ください。

3 弊社ホームページに修理金額の目安が記載されています。事前にご確認ください。

https://www.cellstar.co.jp/customer/repair_price.pdf

- * ご依頼内容の確認のため、記入後必ずコピーを取りお客様控えとしてお手元に保管してください。
- * セルスター工業アフターサービスへ修理品をご送付いただく際、迅速かつ適切な修理をおこなうため、本書裏表紙の保証書と修理受付票に必要事項をご記入のうえ、製品に添付してください。
- * 修理品などをお送りいただく際の送料に関しては、お客様負担となります。
- * 名称、所在地、電話番号は変更される場合があります。ご確認ください。
- * 修理期間中の代替機の貸し出しはおこなっておりません。

■ 修理の流れ

1 ご不明な点は、セルスター工業カスタマーサービスにご連絡ください。

☎ 0570-006867（ナビダイヤル）

☎ 0120-75-6867（フリーダイヤル）

〔受付時間〕 9：00～18：00

（土・日・祝日および、弊社休業日を除く）

携帯電話・PHS・IP電話などフリーダイヤルがご利用になれない場合:0570-006867

- * 修理する製品、保証書をお手元にご用意のうえでおかけになるとスムーズにご相談いただけます。

2 修理品の送付先
セルスター工業 アフターサービス
〒518-1145
三重県伊賀市安場 1608-5
TEL. 0120-75-6867

お客様へのお願い

- * 修理・点検作業の際、本機は工場出荷状態にもどります。お客様が設定した内容や、記録した位置データなどはすべて消去されます。
- * 保証期間の有無に関わらず、送料はお客様のご負担となります。
- * 運送中の衝撃などに耐えられるよう、梱包をお願いします。
- * 運送中の破損紛失などについては、弊社では一切の責任を負いかねます。
- * 有償修理作業完了後、代金引換便にてご返送させていただきます。（処分依頼はお受けいたしかねますので、ご返却させていただきます）

個人情報の利用目的について

本機に対するお問い合わせや修理をご依頼される場合の個人情報は次の目的のみ利用されます。

- ① 弊社製品・サービスに関するお問い合わせ、ご相談、修理などに対応するため。
- ② 製品の企画、開発、販売促進、営業活動にお客様のご要望を反映させるため、および満足度向上などの検討に必要な参考資料とするため。

ご依頼される前に必ず取扱説明書（本書）をお読みいただき、修理受付票と、裏表紙の保証書にご記入のうえ、修理依頼品と一緒に添付してお送りください。

お客様ご記入欄

お客様名：	ご住所：□□□□-□□□□	
ご自宅電話番号：		
FAX番号：		
日中ご連絡可能な電話番号：	☐ 携帯電話 ☐ ご勤務先 ☐ その他（ ）	
ご購入日：	microSDカードのデータなどの消失に関する同意確認 ・お預かりした製品に付属のmicroSDカードのデータは、弊社でバックアップをおこないません。修理の内容によってmicroSDカードを初期化することがあります。いかなる場合でもデータの補償はいたしかねます。ご了承ください。 ※本項のご署名が無い場合、修理をせずにご返却させていただきます。	
同梱した付属品：合計（ ）点	本項の内容について同意します。 ご署名	
①	お見積り連絡： ☐ 不要 / ☐ 必要（ ）円以上の修理の場合に連絡	
②	※不要を選択の場合、お見積り金額にいたしかねます。なお、お見積り金額に關わらず、修理させていただきます。	
③	具体的な症状： ☐ 常に発生する ☐ 時々発生する ☐ 特定の条件で発生する	
④	できるだけ詳しくご記入ください。	
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
修理品返却先	※上記住所以外への返却の場合にご記入ください。	
お客様名：	ご住所：	
ご自宅電話番号：		

保証書

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえ
お受け取りになり、保証内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

本証は、弊社の厳密な検査のもと生産、出荷されたものであることを証明し、本証の保証期間内に正常な使用状態において故障した場合には、本証記載内容のとおり無料で修理および調整をおこなうことをお約束するものです。修理をご依頼する際には修理受付票も併せてご記入ください。【→P63】

製品名：CS-33FH	お買い上げ年月日： 年 月 日
販売店様 ※必ず、ご記入ください。	保証期間 3年 お買い上げ 年月日から 3年間有効
ご住所：	
お電話：	
	

以下の場合には保証の対象外となります。

- ①本製品に付属の取扱説明書に記載された使用方法や注意事項に反した取扱によって生じた故障・破損
- ②誤用・乱用および取扱不注意による故障
- ③火災・地震・風水害・落雷・その他天災地変や公害・塩害・水掛かり・異常電圧による故障
- ④不当な修理に起因する故障や、分解・改造の痕跡がみられる故障
- ⑤使用中に生じた傷など外観上の変化
- ⑥保存状態が適切でなかった場合
- ⑦業務目的でご利用になった場合
- ⑧バッテリー・ディスプレイなど消耗品および付属品の交換
- ⑨本証の提示がない場合
- ⑩本証の所定事項（お買い上げ日、販売店名など）に記入がない場合

- ・取付不良、接続不良、不適切な使用状態による車の故障や事故などの附随的損害の補償については一切この責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- ・本証は日本国内においてのみ有効です。また本証の再発行はいたしかねますので大切に保存ください。

修理・点検をご依頼される際の注意事項

設定の記憶やお客様が情報を登録できる製品につきまして、修理・点検作業の際、本製品は工場出荷状態にもどります。お客様が設定した内容や、記録した位置データなどはすべて消去されます。あらかじめご了承ください。

販売店様へのお願い 保証書欄にお買い上げ年月日、店名、ご住所、お電話番号をご記入のうえ、お客様へお渡しください。

お客様相談窓口

■電話でのお問い合わせ

<個人のお客様> カスタマーサービス

[受付時間] 9:00～18:00(土・祝日および、弊社休業日を除く)



0570-006867 (ナビダイヤル)

☎ 0120-75-6867 (フリーダイヤル)

携帯電話・PHS・IP電話などフリーダイヤルがご利用にならない場合：0570-006867

<法人のお客様> セルスター工業株式会社 本社 (代)

[受付時間] 9:00～18:00(土・祝日および、弊社休業日を除く)

TEL.046-273-1100 (代) / FAX.046-273-1106

■メールでのお問い合わせ

弊社ホームページのよくあるご質問 (FAQ) より質問を送信してください。

<https://faq.cellstar.co.jp/>



セルスター工業 拠点一覧

- 北海道地区 札幌営業所
〒004-0842 北海道札幌市清田区清田二条3-2-1
TEL.011-882-1225 (代) / FAX.011-881-7251
- 東北地区 仙台営業所
〒981-3117 宮城県仙台市泉区市名坂字原田158
TEL.022-218-1100 (代) / FAX.022-218-1110
- 北関東・新潟地区 水戸営業所
〒310-0903 茨城県水戸市堀町795-2
TEL.029-254-6911 (代) / FAX.029-255-1420
- 関東地区 本社
〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野7-17-29
TEL.046-273-1100 (代) / FAX.046-273-1106

- 東海・北陸地区 名古屋営業所
〒453-0021 愛知県名古屋市中村区松原町5-7-1
TEL.052-307-5733 (代) / FAX.052-307-5737
- 関西・中国・四国地区 大阪支店
〒562-0004 大阪府真面目市牧落3-8-7
TEL.072-722-1880 (代) / FAX.072-722-5575
- 九州・沖縄地区 福岡営業所
〒811-1314 福岡県福岡市南区的場二丁目15番16号
TEL.092-588-1101 (代) / FAX.092-588-0057

名称、所在地、電話番号は変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

[全国自動車用品工業会会員] [一般社団法人ドライブレコーダー協議会会員]
[一般社団法人日本自動車部品工業会会員] [東京都自動車部品組合会員]

<https://www.cellstar.co.jp>



セルスター工業株式会社